



# 部活動·同好会

# 平成11年度 (1999)

体育系部	顧問
陸上	服部・下野・田島・林
柔道	西尾・藤原・植田・細井
剣 道	戸谷・堀・山本 (登)
弓 道	渡辺 (克)・有賀・坂井
野 球	小牧・大坪・小野 (康)
卓    球	前田・砂場・別所・原
バスケットボール	杉山・井上・玉置・太田
バレーボール(男)	高寺・河田
バレーボール (女)	塚原・石井
サ ッ カ ー	木澤 (朗)・佐藤
ラ グ ビ ー	石神・間宮・古田
テ ニ ス	錦見・深尾・高木・貝川
ボート	横山・水野・角田

	文化系部		顧問
	ー ラ	ス	都竹・後藤・神保
吹	奏	楽	棚橋・村上
美		術	布山・猪飼
文		芸	長谷部
演		劇	小野 (悟)・伊藤
書		道	田中・中村
生		物	籠橋・加藤
化		学	竹中
気	象 天	文	山川・山田 (暁)・木澤 (慶)
放		送	奥田
アマ	マチュアタ	無線	山田(和)・山田(幸)
タ	1	プ	鈴木・平石
手		芸	加藤
新		聞	土屋
将		棋	武邑
囲		碁	藤澤
手		話	傍島
	同好会		顧問
茶	華	道	伊佐治・林(弘)・西山(和)

		_
◆ボート部	岐阜県高校総体 男子舵手付フォア 優勝 女子舵手付フォア 2位・3位 女子シングルスカル 3位	
	中日本レガッタ 男子舵手付フォア 優勝 東海高校総体 男子舵手付フォア 優勝 女子舵手付フォア 2 位	
	※全国高校総体 男子舵手付フォア 5位 ※国民体育大会 男子舵手付フォア 8位	
	岐阜県高校新人大会 男子舵手付フォア 優勝 男子ダブルスカル 3位	
	女子舵手付フォア 優勝 女子ダブルスカル 3 位 中部高校選抜大会 男子舵手付フォア 5 位 女子舵手付フォア 4 位 ※全国選抜大会出場	
	※全国高校選抜大会 女子舵手付フォア 6位	
◆弓道部	岐阜県高校新人大会 女子個人 優勝 女子団体 3位 東海高校弓道選抜大会 女子個人 出場 ※全国高校弓道選抜大会 女子個人 出場	
◆剣道部	岐阜県高校総体男子個人優勝男子団体ベスト8東海高校総体男子個人優勝※全国高校総体男子個人ベスト32岐阜県高校新人大会男子団体3 位男子個人5 位・敢闘賞※全日本剣道連盟強化訓練合宿参加全日本高校男子強化指定選手	
◆陸上部	岐阜県高校総体女子800m 6 位女子槍投げ 5 位東海高校総体出場岐阜県高校新人大会5000m競歩 2 位円盤投げ 3 位東海高校新人大会出場	
◆柔道部	岐阜県高校新人大会 女子個人 -48kg級 3位	
◆書道部	岐阜県高校総合文化祭書道展  奨励賞	
◆手話部	中部手話スピーチコンテスト 手話スピーチ 最優秀賞・優秀賞 2	
◆吹奏楽部	岐阜県吹奏楽ソロコンテスト クラリネット 金賞 フルート 金賞	
◆囲碁部	全国高校囲碁選手権岐阜県大会 男子個人 優勝 男子団体 2位 ※全国高校囲碁選手権大会 男子個人 出場 岐阜県高校文化祭囲碁新人大会 男子個人 優勝・3位 ※全国高校総合文化祭囲碁部門 男子個人 出場	
◆放送部	岐阜県高校放送コンテストアナウンス 3位朗読 4位※全国高校総合文化祭放送部門文化連盟賞岐阜県高校放送コンテスト新人大会アナウンス 1位※NHK杯全国高校放送コンテストアナウンス 出場朗読 出場	

文化連盟賞

努力賞2

◆気象天文部 ※全国高校総合文化祭科学部門

※全国高校理科・科学クラブ研究論文大会

## 平成12年度(2000)

体育系部	顧問
陸上	服部・林・下野・山本
柔道	細井・西尾・植田・村上
剣 道	戸谷・永瀬・堀
弓 道	渡辺(克)・有賀・坂井・高田
野球	小牧・小野 (康)・日野
卓 球	前田・別所・原
バスケットボール	杉山・井上・玉置・太田
バレーボール(男)	高寺・河田
バレーボール (女)	塚原・石井
サ ッ カ ー	木澤 (朗)・佐藤
ラ グ ビ ー	間宮・山田
テ ニ ス	錦見・深尾・高木・貝川
ボート	横山・水野・角田

文化系部	顧問
コーラス	鈴木(ひ)・後藤・神保
吹 奏 楽	松尾・藤守
美 術	布山・伊佐治
文芸	長谷部
演劇	小野 ( 悟 )・伊藤
書道	田中・鈴木 (百)・中村
生 物	籠橋・加藤 (寿)
化 学	竹中
気 象 天 文	山川・山田 ( 暁 )・木澤 ( 慶 )
放 送	奥田
アマチュア無線	山田(和)・山田(幸)
タ イ プ	都竹
手 芸	加藤(敦)
新聞	平石・砂場
将 棋	武邑
囲碁	藤澤
手 話	傍島
同好会	顧問
茶 華 道	猪飼・林(弘)・西山(和)

◆ボート部 諏訪湖レガッタ 女子舵手付フォア 2 位

岐阜県高校総体 男子舵手付フォア 優勝 女子舵手付フォア 優勝

男子ダブルスカル 2位 女子ダブルスカル 3位

男子シングルスカル 3位

中日本レガッタ 男子舵手付フォア 4位 女子舵手付フォア 3位

男子クォドルプル 6位

東海高校総体 女子舵手付フォア 2位

※全国高校総体 男子舵手付フォア 準々決勝進出 女子舵手付フォア 準々決勝進出

男子ダブルスカル 準々決勝進出

国体東海ブロック大会 女子舵手付フォア 2位 ※国民体育大会 女子舵手付フォア 5位

岐阜県高校新人大会 男子クォドルプル 2位 女子クォドルプル 優勝

女子ダブルスカル 優勝 女子シングルスカル 2位

中部高校選抜大会 女子クォドルプル 2位 女子シングルスカル 3位

※全国高校選抜大会 女子クォドルプル 2位

◆剣道部 岐阜県高校剣道大会 女子団体 3位

岐阜県高校新人大会 女子団体 2位

全国高校選抜大会岐阜県予選 女子団体 3位

◆陸上部 岐阜県高校総体 男子400mH 5位 男子円盤投げ 2位 東海総体出場

岐阜県選手権 男子円盤投げ(一般用) 8位 女子10000m 3位

岐阜県高校新人大会 女子3000m 6位 女子砲丸投げ5位 東海高校新人大会出場

◆書道部 岐阜県高校総合文化祭書道展 奨励賞

◆美術部 岐阜県美術展青年部 絵画 優秀賞 デザイン 優秀賞

岐阜県高校総合文化祭美術・工芸展 最優秀賞

◆囲碁部 全国高校囲碁選手権岐阜県大会 男子団体 優勝 男子個人 優勝 女子個人 2位

※全国高校囲碁選手権大会 男子団体 ベスト16 男子個人 出場 岐阜県高校総合文化祭囲碁新人大会 男子個人 3位 ※全国高校文化祭出場 ※全国高校総合文化祭囲碁部門 岐阜県選抜団体 出場 男子個人 24位

◆放送部 岐阜県高校放送コンテスト アナウンス 優勝・2位

※全国高校総合文化祭放送部門 文化連盟賞

◆手話部 ※高校生の手話によるスピーチコンテスト全国大会 出場

◆新聞部 ※大東文化大学主催全国高校新聞コンクール 銅賞



## 平成13年度(2001)

体育系部	顧問
陸上	服部・林・下野・(平出)
柔道	細井・西尾・横山(衣)・(植田)
剣 道	永瀬・堀
弓 道	渡辺(克)・有賀・坂井・大江
野球	小牧・日野・水野
卓 球	前田・別所・原
バスケットボール	杉山・日下部・井上 (宜)・玉置
バレーボール(男)	酒瀬川・松野
バレーボール (女)	高寺・石井
サ ッ カ ー	木澤・佐藤・丸山
ラ グ ビ ー	山田 (哲)・間宮・西田
テ ニ ス	河田・深尾・高木・貝川
ボート	横山 (厚)・角田・池村

	文化系部		顧問
	ー ラ	ス	後藤・井戸・神保
吹	奏	楽	松尾・藤守・村上
美		祈	布山・猪飼
文		芸	長谷部
演		劇	渡辺(昌)・長沼
書		道	田中・岩垂
生		物	加藤 (寿)・松井
化		学	竹中
気	象天	文	山川・山田 (暁)・鈴木
放		送	奥田
アマ	アチュア無	<b>無線</b>	山田(和)
ワ	ー プ		都竹
手		芸	加藤 (敦)
新		聞	砂場・草薙・(平石)
将		棋	武邑
囲		碁	藤澤
手		話	傍島・井上(い)
	同好会		顧問
茶	華	道	太田・林(弘)・西山(和)

◆ボート部	諏訪湖レガッタ	女子クォドルプル 優勝 女子ダブルスカル 優勝 女子シングルスカル 優勝
	岐阜県高校総体	
	中日本レガッタ東海高校総体	女子クォドルプル3位女子シングルスカル優勝女子クォドルプル2位女子ダブルスカル3位女子シングルスカル2位女子総合優勝
	※全国高校総体 ※国民体育大会 中部高校選抜大会 ※世界ジュニア選手権 ※アジアジュニア選手権 ※国際大会 ※全国高校選抜大会	女子クォドルプル     2位       女子クォドルプル     岐阜選抜     6位       女子クォドルプル     2位       女子クォドルプル     7位       女子クォドルプル     2位     女子シングルスカル     優勝       優勝     岐阜県民栄誉賞       女子クォドルプル     5位
◆剣道部	岐阜県高校総体 ※全国高校総体 岐阜県剣道選手権大会 岐阜県高校剣道大会 岐阜県高校新人大会	女子個人     優勝       女子個人     3回戦進出       高校女子の部     3位       女子団体     3位       女子団体     優勝
◆陸上部	岐阜県高校総体 岐阜県選手権 岐阜県高校新人大会	女子砲丸投げ 6位 東海高校総体出場 女子1万m 2位 男子砲丸投げ 5位 東海高校新人大会出場
◆テニス部	岐阜県高校総体 岐阜県高校新人大会	男子団体 3位 女子団体 3位 女子団体 3位 女子ダブルス 3位
◆水泳競技	岐阜県高校新人大会	男子100m自由形3位男子100mバタフライ3位男子100m背泳ぎ2位男子200m背泳ぎ2位男子100m自由形優勝・3位男子50m自由形2位男子100m背泳ぎ優勝男子200m背泳ぎ優勝女子100mバタフライ2位女子200mバタフライ2位

◆**書道**部 岐阜県高校総合文化祭書道展 優秀賞

◆美術部 岐阜県美術展青年部 絵画 優秀賞 デザイン 優秀賞 3 岐阜県高校総合文化祭美術・工芸展 デザイン 最優秀賞

※全国高校総合文化祭美術・工芸展 出品

◆吹奏楽部 岐阜県吹奏楽ソロコンテスト マリンバ 金賞 岐阜県吹奏楽コンクール 小編成 金賞

◆演劇部 岐阜県高校演劇大会 奨励賞

◆囲碁部 全国高校囲碁選手権岐阜県大会 男子団体 優勝 男子個人 2位 ※全国高校囲碁選手権大会 男子団体 出場 男子個人 出場

※主国高校西春選子惟入云 男子団体 田場 男 岐阜県高校総合文化祭囲碁新人大会 男子個人 3位 ※全国高校総合文化祭囲碁部門 岐阜県選抜団体 出場

※全国高校総合文化祭囲碁部門 岐阜県選抜団体 出場 ◆放送部 岐阜県高校放送コンテスト アナウンス 4位・5位

◆手話部 ※全国高校生の手話によるスピーチコンテスト 出場 ◆気象天文部 ※全国高校理科・科学クラブ研究論文大会 努力賞

## 平成14年度(2002)

体育系部	顧問
陸上	井川・林・神原
柔道	吉田・井上(い)・横山(衣)
剣 道	永瀬・若山
弓 道	渡辺 (克)・有賀・植田・大江
野 球	小牧・川原・田中
卓    球	酒瀬川・前田・高橋
バスケットボール	杉山・桜井・井上(宜)・井戸(由)
バレーボール(男)	高寺・原・安藤
バレーボール (女)	青田・石井・安藤
サ ッ カ ー	木澤 (朗)・丸山・高木
ラ グ ビ ー	山田 (哲)・茂角
テニス(男)	深尾・牧田
テニス(女)	河田・貝川
ボ ー ト	横山 (厚)・古川・角田

	文化系部		顧問
$\Box$	ー ラ	ス	井戸(星)・渡辺(義)・[神保]
吹	奏	楽	渡邉 (綠)・松尾・村上
美		術	布山・猪飼
文		芸	長谷部
演		劇	河内・都竹・長沼
書		道	鈴木・岩垂
生		物	松井・加藤 (寿)
化		学	竹中・長沼
気	象天	文	木澤 ( 慶 )・山川
放		送	奥田
アマ	アチュア無	乗線 かんりょう かんりょう かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	池村
ワ	ー プ		渡辺(昌)
手		芸	加藤(敦)
新		聞	山田 ( 暁 )
将		棋	日野
囲		碁	藤澤
手		話	傍島・藤井
	同好会		顧問
茶	華	道	太田・[林]・[西山]

◆ボート部 諏訪湖レガッタ 女子クォドルプル 2 位

岐阜県高校総体 男子クォドルプル 2位 男子ダブルスカル 2位

男子シングルスカル 2位・3位

女子クォドルプル 2位 女子シングルスカル 優勝・3位

中日本レガッタ 女子シングルスカル 3位

東海高校総体 女子クォドルプル 3位 女子シングルスカル 2位 女子総合 3位

※全国高校総体 女子シングルスカル 準決勝進出

※国民体育大会 男子ダブルスカル 出場 ※全国高校選抜大会 女子クォドルプル 6 位

◆剣道部 岐阜県高校総体 女子団体 3位 女子個人 3位

岐阜県高校剣道大会 男子団体 3位

◆陸上部 岐阜県高校新人大会 男子砲丸投げ4位 男子円盤投げ 3位 東海高校新人大会出場

◆テニス部 岐阜県高校総体 女子団体 3 位 岐阜県高校新人大会 女子団体 3 位

◆ラグビー部 岐阜県高校総体 3位

◆弓道部 岐阜県高校総体 女子団体 2位 女子個人 優勝

東海高校総体 女子個人 3 位 全国高校総体 女子個人 出場

◆水泳競技 岐阜県高校総体 男子50m自由形 4位·7位 男子100m自由形 6位

男子100mバタフライ3位男子100m背泳ぎ2位男子200m背泳ぎ2位女子200mバタフライ4位

女子100mバタフライ 4位

◆書道部 岐阜県高校総合文化祭書道展 優秀賞

◆美術部 岐阜県高校総合文化祭美術・工芸展 デザイン 優秀賞

※全国高校総合文化祭美術·工芸展 出品

◆囲碁部 全国高校囲碁選手権岐阜県大会 男子団体 4位 女子団体 4位

岐阜県高校総合文化祭囲碁新人大会 男子個人 6位

◆放送部 岐阜県高校放送コンテスト新人大会 アナウンス 2位 朗読 5位

※全国高校放送コンクール 最優秀賞

◆手話部 ※全国高校生の手話によるスピーチコンテスト 奨励賞

※いきいき活動奨励賞 優秀活動賞

◆気象天文部 岐阜県児童生徒科学作品展 最優秀賞

※全国高校理科・科学クラブ研究論文大会 努力賞

◆文芸部 岐阜県高校総合文化祭文芸部会 文芸誌コンクール 佳作



## 平成15年度 (2003)

体育系部	顧問
陸上	吉田・林・下野
柔道	若山・茂角・横山 (衣)
剣 道	永瀬・西尾・前田 (博)
弓 道	渡辺 (克)・井戸・太田
野 球	内海・川原・和田
卓 球	高橋・前田 (仁)・酒瀬川
バスケットボール	杉山・桜井・丸山
バレーボール(男)	古川・原
バレーボール (女)	水口・植田
サ ッ カ ー	木澤 (朗)・小島
ラ グ ビ ー	山田・井川
テ ニ ス(男)	深尾・高木
テニス(女)	水谷・貝川
ボート	横山 (厚)・角田・石原

文化系部		顧問
コーラ	ス	井戸・[神保]
吹 奏	楽	渡邉 (綠)・松尾・長沼
美	術	加藤・猪飼・(降簱)
文	芸	長谷部・小森
演	劇	降簱・河内・都竹
書	道	鈴木・岩垂
生	物	松井
化	学	松浦
気 象 天	文	木澤 (慶)・山川
放	送	奥田
アマチュア無	線	池村
パソコ	ン	渡辺(昌)
手	芸	小串
新	聞	田中・(井戸)
将	棋	日野
囲	碁	藤澤・後藤
手	話	傍島
同好会		顧問
茶  華	道	大江・[林]・[西山]

			마시 스		作品 167	
			茶 華	道 大江	・[林]・[西山]	
◆ボート部	諏訪湖レガッタ	女子クォドルプル 男子ダブルスカル		女子シンク	グルスカル 2位	
	岐阜県高校総体	女子クォドルプル		男子ダブ	ルスカル 優勝・3 位	
	1950年/八山 1天小山 1千	男子クォドルプル	15-47-47	女子ダブ		
		男子シングルスカ		女子シン	グルスカル 3位	
	東海高校総体	男子ダブルスカバ		女子ダブ		
		男子クォドルプル		女子クォ	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
		女子シングルスカ		女子総合		3位
	※全国高校総体	男子ダブルスカル		女子クォト		
	国体東海ブロック大会				グルスカル 2位	
	岐阜レガッタ	男子クォドルプル		女子クォト	ドルプル 2位	
		男子ダブルスカル		ナフカココ	ヾ1. →゚1.  /百晄	
	岐阜県高校新人大会	: 男子クォドルプル 男子ダブルスカル		女子クォーケス	ドルプル 優勝 グルスカル 優勝	
	中部高校選抜大会	女子クォドルプル		男子ダブ		
	11时间仅经10人口	女子シングルスカ		71 1 1/7	7077770 J III.	
	※国民体育大会	男子クォドルプル		準決勝進	出	
	岐阜県教育長表彰	344	2111-		•	
	※全国高校選抜大会	女子クォドルプル	4位			
◆弓道部	岐阜県高校総体	女子個人 優勝				
▼ J, Z= III <sup>-</sup>	※全国高校総体	女子個人 出場				
◆陸上部	岐阜県高校総体	男子円盤投げ 4位	男子砲丸打	没げ 6位	女子砲丸投げ 3	陆
	<b>哎早</b> 异同 <b>汉</b> 松冲	以上、東海高校総体出場		又() 01世	女 1 种 1 时 2 时 2 0 1	111.
◆テニス部	岐阜県高校総体	女子団体 3位				
◆剣道部	岐阜県高校総体	男子個人 3位				
▲ 廿七 兰 立 7	※公司市状公公力ルタ	(千年)天平10月日	アナウンフ	サル 声明省	•	

◆放送部 ※全国高校総合文化祭放送部門 アナウンス 文化連盟賞 岐阜県高校放送コンテスト新人大会 アナウンス 4位 岐阜県高校生アナウンス・コンクール 優勝 ※NHK杯全国高校放送コンテスト 出場

◆吹奏楽部 岐阜県吹奏楽ソロコンテスト 金賞

岐阜県アンサンブルコンテスト 打楽器六重奏 金賞

◆書道部 岐阜県高校総合文化祭書道展 最優秀賞

◆囲碁部 全国高校囲碁選手権岐阜県大会 男子団体 2位

◆気象天文部 岐阜県児童生徒科学作品展 最優秀賞

◆手話部 ※全国高校生の手話によるスピーチコンテスト 奨励賞

## 平成16年度 (2004)

体育系部	顧問
陸上	吉田・和田・井戸 (星)
柔道	茂角・横山 (衣)・石原 (有)
剣 道	永瀬・前田 (博)・西尾
弓 道	藤井・川出・井戸(由)
野 球	内海・川原・市村
卓    球	高橋・前田 (仁)・小串
バスケットボール	杉山 (広)・桜井・中路
バレーボール(男)	松原・古川 (真)
バレーボール(女)	川口・水口
サッカー	小島・酒井・日野
ラ グ ビ ー	山田・井川
テニス(男)	水谷・高木
テニス(女)	河田・貝川
ボ ー ト	横山 (厚)・林・石原 (康)

	文化系統	:B	顧問
吹	奏	楽	松尾・渡邉(緑)・杉山(謙)
美		術	加藤・田中・降簱
文		芸	竹内・太田
演		劇	降簱・河内・都竹
書		道	鈴木・岩垂
自	然科	学	長沼・高間
放		送	奥田
アト	マチュア	無線	池村
パ	ソニ	ン	渡辺 (昌)
新		聞	大矢
囲	碁・将	棋	藤澤・日野
手		話	石川・[柘植]・[武山]
	同好会		顧問
$\Box$	_ <del>-</del> =	ス	井戸(星)
手		芸	小串
茶	華	道	小森・[伊藤]

◆ボート部	諏訪湖レガッタ	男子ダブルスカル	優勝	女子ダブルスカル	/ 1	憂勝
		女子クォドルプル	2位			
	岐阜県高校総体	男子ダブルスカル	優勝	女子ダブルスカル	/ 1	憂勝
		男子シングルスカル	優勝	女子クォドルプル		2位
		女子シングルスカル	2位			
	東海高校総体	女子ダブルスカル	優勝	女子シングルスカ	リレ :	2位
	※全国高校総体	女子ダブルスカル	優勝	※全国優勝 男	男子ダブ	ルスカル 5位
	※全日本ジュニア選手権	女子シングルスカル	2位			
	※アジアジュニア選手権	女子シングルスカル	優勝	※国際力	大会	憂勝
	※世界ジュニア選手権	女子クォドルプル	出場			
	岐阜レガッタ	男子クォドルプル	優勝	女子ダブルスカ	<b>リノレ</b> イ	憂勝
	国体東海ブロック大会	女子クォドルプル	優勝			
	国民体育大会	女子クォドルプル	岐阜選担	友 6位		
	岐阜県高校新人大会	女子シングルスカル	優勝•3	位 男子クォドル	レプル	2位
		女子クォドルプル	2位	男子シングルスカ	フレ :	3位
		女子ダブルスカル	3位			
	岐阜県民栄誉賞	2名 受賞				
◆テニス部	岐阜県高校総体 女子	ダブルス 3位				

◆柔道部 岐阜県柔道形選手権 2位

◆陸上部 岐阜県選手権 男子400mH 5位

岐阜県高校新人大会 男子400mH 2位 男子円盤投げ 5位 東海高校新人大会出場

◆放送部 岐阜県高校放送コンテスト アナウンス 優勝

※全国高校総合文化祭放送部門 アナウンス 出場 ビデオメッセージ 出場

岐阜県高校放送コンテスト新人大会 アナウンス 優勝

※NHK杯全国高校放送コンテスト 出場

◆文芸部 ※全国高校総合文化祭文芸部門 小説 出品

◆囲碁部 全国高校囲碁選手権岐阜県大会 男子団体 3位

◆手話部 ※全国高校生の手話によるスピーチコンテスト 出場



## 平成17年度(2005)

体育系部	顧問
陸上	横井内・和田・井戸 (星)
柔道	茂角・横山(衣)・石原(有)
剣 道	永瀬・前田・西尾
弓 道	川出・浅見・酒井 (恭)
野 球	内海・川原・小俣
卓    球	高橋・藤井・桜井
バスケットボール	杉山・酒井(亜)・中路・日下部
バレーボール(男)	國居・古川
バレーボール(女)	川口・水口
サ ッ カ ー	小島・赤塚・(日野)
ラ グ ビ ー	井川・市村
テニス(男)	水谷・桂川
テニス(女)	河田・貝川
ボート	横山 (厚)・林・石原 (康)

	文化系部		顧問
吹	奏	楽	渡邉 ( 綠 )・松尾・別所
美		術	加藤・(降簱)
文		芸	竹内
演		劇	降簱・市原・都竹
書		道	井戸 (由)・岩垂
自	然 科	学	井戸 (清)・高間
放		送	奥田
アト	マチュア無	無線	池村
11	ソコ	ン	渡辺(昌)
新		聞	大矢
囲	碁・将	棋	藤澤・日野
手		話	石川・[武山]
	同好会		顧問
	ー ラ	ス	丹羽
手		芸	小串
茶	華	道	若井・[伊藤]

◆ボート部 諏訪湖レガッタ 女子クォドルプル 2位 岐阜県高校総体 男子クォドルプル 3位 女子クォドルプル 優勝・3位 岐阜レガッタ 男子クォドルプル 3位 東海高校総体 女子ダブルスカル 優勝 女子シングルスカル 2位 ※全国高校総体 女子クォドルプル 準決勝進出 岐阜県高校新人大会 男子クォドルプル 女子クォドルプル 優勝 優勝 女子ダブルスカル 優勝 男子シングルスカル 2位 女子シングルスカル 2位 中部高校選抜大会 女子ダブルスカル 優勝 男子クォドルプル 5位 女子クォドルプル 4位 女子ダブルスカル ※全国高校選抜大会 優勝 女子クォドルプル 7位 男子400mH 2位 男子円盤投げ 6位 女子400mH 6位 ◆陸上部 岐阜県高校総体 以上、東海高校総体出場 岐阜県選手権 男子400mH 6位 女子400m 7位 女子400mH 5位 以上、東海選手権出場

岐阜県高校新人大会 男子400mH 優勝 男子110mH 5位 男子1600mR 6位

女子400mH 3位 女子400m 5位 女子100mH 5位

以上、東海高校新人大会出場

◆柔道部 岐阜県高校総体 男子個人60kg級 3位

◆テニス部 岐阜県高校総体 女子団体 ベスト8 女子シングルス 7位・8位

東海中日テニス選手権岐阜県予選 男子ダブルス 準優勝 女子シングルス 3位・5位

以上、東海大会出場

岐阜県高校新人大会 女子団体 準優勝 東海大会出場 男子ダブルス ベスト8

女子シングルス 3位・8位 女子シングルス 3位

全国選抜東海大会 女子団体 出場

東海毎日テニス選手権岐阜県予選 女子シングルス 3位 女子ダブルス 3位 東海大会出場

◆バスケットボールド 岐阜県高校総体 女子 3位

◆ラグビー部 国体東海ブロック大会 岐阜選抜 優勝

※国民体育大会 岐阜選抜 7位

◆放送部 岐阜県高校放送コンテスト アナウンス 優勝

※全国高校総合文化祭放送部門 アナウンス 優秀賞

岐阜県高校放送コンテスト新人大会 ビデオメッセージ 2位

※NHK杯全国高校放送コンテスト 入選

◆書道部 岐阜県高校総合文化祭書道展 最優秀賞

## 平成18年度(2006)

//	=7 00
体育系部	顧問
陸上	横井内・和田・井戸 (星)
柔道	茂角・横山 (衣)・石原 (有)
剣 道	永瀬・長沼・(前田)・西尾
弓 道	川出・浅見・酒井
野 球	内海・小俣・佐藤恵
卓球	津崎・藤井・松原
バスケットボール	杉山・桜井・中路・日下部
バレーボール(男)	河田・古川 (真)
バレーボール(女)	古川 (伸)・渡辺 (悦)
サ ッ カ ー	西・小島・(生駒)
ラ グ ビ ー	井川・川口
テニス(男)	水谷・中澤
テニス(女)	生駒・貝川
ボート	横山 (厚)・林・石原

	サルガウ	7	55 BB
	文化系部	5	顧問
吹	奏	楽	渡邉(綠)・二村・國居
美		術	降簱・高間
文		芸	竹内
演		劇	市原・水口・(降簱)
書		道	井戸 (由)・岩垂
自	然 科	学	井戸 (清)
放		送	奥田
アト	マチュア	無線	池村
1 %	ソコ	ン	渡辺 (昌)
新		聞	桂川
囲	碁・将	棋	藤澤・市村
手		話	石川・[武山]
	同好会		顧問
	ー ラ	ス	丹羽
茶	華	道	小串

◆ボート部 諏訪湖レガッタ 女子ダブルスカル 優勝 女子クォドルプル 2位

岐阜県高校総体 男子クォドルプル 優勝 男子ダブルスカル 2位 男子総合 優勝

女子クォドルプル 優勝 女子ダブルスカル 優勝

女子シングルスカル 2位 女子総合 優勝

東海高校総体 男子クォドルプル 4位 男子ダブルスカル 5位

女子クォドルプル 2位 女子ダブルスカル 3位

※全日本ジュニア選手権 女子シングルスカル 6位 ※アジアジュニア選手権 女子シングルスカル 3位

※全国高校総体 男子クォドルプル 準々決勝進出 女子クォドルプル 準々決勝進出

女子ダブルスカル 4位

国体東海ブロック大会 女子クォドルプル 岐阜選抜 優勝 ※国民体育大会 女子クォドルプル 岐阜選抜 6位

岐阜県高校新人大会 男子クォドルプル 優勝 男子シングルスカル 2位

女子クォドルプル 2位 女子ダブルスカル 2位

女子シングルスカル 2位

中部高校選抜大会 女子クォドルプル 優勝 男子クォドルプル 3位

女子シングルスカル 3位 ※全国高校選抜大会出場

◆柔道部 岐阜県高校総体 男子団体 6位 男子60kg級 準優勝 男子100kg級 4位

◆弓道部 岐阜県高校選抜大会 女子団体 4位 東海高校選抜大会出場

◆テニス部 岐阜県高校総体 女子団体 準優勝 東海高校総体出場

東海中日テニス選手権岐阜県予選 女子シングルス 3位 女子ダブルス 3位

以上、東海大会出場

岐阜県高校新人大会 男子団体 3位 女子団体 3位

◆陸上部 岐阜県高校総体 男子400mH 7位 男子走り高跳び 7位 女子400mH 5位

東海高校総体 女子400mH 出場

岐阜県高校新人大会 男子走り高跳び 4位 女子槍投げ 4位 東海高校新人大会 男子走り高跳び 出場 女子槍投げ 出場

◆放送部 岐阜県高校放送コンテスト アナウンス 優勝 テレビドキュメント 4 位

※NHK杯全国高校放送コンテスト アナウンス 出場 テレビドキュメント 出場

◆書道部 岐阜県美術展青年部 書道 優秀賞

岐阜県高校総合文化祭書道展 優秀賞

◆美術部 岐阜県美術展青年部 絵画 優秀賞 2

岐阜県高校総合文化祭美術・工芸展 絵画 奨励賞 デザイン 奨励賞

岐阜県高校総合文化祭写真展優秀賞



## 平成19年度(2007)

体育系部	顧問
陸上	横井内・和田・井戸 (星)
柔道	茂角・横山・石原 (有)
剣 道	永瀬・長沼(前田)・(西尾)
弓 道	川出・浅見・市原
野 球	内海・杉山・牧村
卓 球	津崎・藤井・松原
バスケットボール	林 (義)・桜井・中路
バレーボール(男)	二村・古川(真)
バレーボール(女)	古川 (伸)・渡辺 (悦)
サ ッ カ ー	西・千葉
ラ グ ビ ー	井川・川口
テニス(男)	水谷・中澤
テニス(女)	生駒・丹羽(さ)
ボ ー ト	古田・林 (綾)・石原 (康)
ソフトボール	西尾

	文化系部		顧問
吹	奏	楽	渡辺 ( 綠 )・佐藤・國居
美		術	酒井・(降簱)
文		芸	竹内
演		劇	降簱・水口
書		道	井戸(由)・岩垂
自	然 科	学	河田・井戸 (清)
放		送	奥田
アマ	アチュア剣	無線	池村
1 %	ソコ	ン	渡辺(昌)
新		聞	桂川
囲	碁・将	棋	藤澤・市村
手		話	石川・[武山]
	ー ラ	ス	丹羽 (順)
	同好会		顧問
茶	華	道	小串・[伊藤]

◆ボート部 諏訪湖レガッタ 女子クォドルプル 2位 女子ダブルスカル 3位

男子クォドルプル 3位

岐阜県高校総体 女子クォドルプル 優勝 女子ダブルスカル 2位

女子シングルスカル 3位 女子総合 優勝 男子クォドルプル 優勝・3位 男子総合 優勝

東海高校総体 女子 クォドルプル 2位 女子ダブルスカル 4位

女子シングルスカル 4位 女子総合 2位 男子クォドルプル 3位

全日本ジュニア選手権 3名出場

国体東海ブロック大会 男子クォドルプル 優勝 女子クォドルプル 優勝

※全国高校総体 女子クォドルプル 優勝 ※全国優勝

男子クォドルプル 出場 岐阜県高校新人大会 男子クォドルプル 優勝 男子シングルスカル 優勝

男子クォドルプル 優勝 男子ダブルスカル 3 位

男子タノルスカル 3位 女子クォドルプル 優勝 女子ダブルスカル 優勝・2位

中部高校選抜大会 女子クォドルプル 2位 男子クォドルプル 4位 ※国民体育大会 女子クォドルプル 岐阜選抜 優勝 ※全国優勝

男子クォドルプル 岐阜選抜 6位

※全国高校選抜大会 男子クォドルプル 4位 女子クォドルプル 3位

◆柔道部 岐阜県柔道形選手権大会 優勝

岐阜県柔道体重別選手権大会 男子73kg級 3位 岐阜県高校新人大会 女子C級 3位

◆テニス部 岐阜県高校総体 男子団体 3位 女子団体 3位

岐阜県高校新人大会 男子団体 3位

◆陸上部 東海陸上選手権大会 女子棒高跳び 出場

東海高校陸上新人大会 男子800m・男子ハンマー投げ・女子400mH 出場

東海高校総体 男子走り高跳び 出場

◆剣道部 岐阜県高校新人大会 男子個人 3 位

◆ラグビー部 ・岐阜県高校ラグビーフットボール 7 人制大会 3 位

◆卓球部 東海卓球選手権 男子個人2名 出場

◆放送部 岐阜県高等学校放送コンテスト アナウンス 3位 テレビドキュメント 4位

※NHK杯全国高校放送コンテスト アナウンス 出場 テレビドキュメント 出場

※全国高等学校総合文化祭 アナウンス 出場 岐阜県高校放送コンテスト新人大会 アナウンス 5位

岐阜県高校生アナウンスコンクール 3位

◆吹奏楽部 岐阜県ソロコンテスト トロンボーン 金賞・最優秀賞

全日本中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト東海大会 トロンボーン 銀賞

◆書道部 岐阜県美術展青年部 書道 優秀賞 岐阜県高等学校総合文化祭書道展 最優秀賞

◆美術部 | 岐阜県美術展青年部 | 絵画 | 優秀賞 | 写真 | 優秀賞

岐阜県高校写真コンテスト 奨励賞3 岐阜県高校総合文化祭写真展 優秀賞

岐阜県高校総合文化祭美術・工芸展 絵画 奨励賞2

◆演劇部 岐阜県高校総合文化祭合同公演 演劇 優秀賞

◆文芸部 美作大学児童学科主催夢の森児童文化賞 物語部門 佳作

岐阜県高校文芸コンクール 詩部門 3位

全国高校生童話大賞 銅賞

◆自然科学部 岐阜県高校総合文化祭自然科学系部活動研究発表·交流会 奨励賞

## 平成20年度(2008)

体育系部	顧問
陸上	横井内・吉川・井戸 (星)
柔道	茂角・堀江・長沼
剣 道	垣下・横山・小島 (礼)
弓 道	町井・浅見・松原
野 球	内海・古川 (真)・牧村
卓 球	津崎・杉山・藤井
バスケットボール	林・中路・千葉
バレーボール(男)	二村・渡辺 (悦)
バレーボール(女)	今井・和田
サ ッ カ ー	西・小島(和)
ラ グ ビ ー	矢﨑• 川口
テニス(男)	水谷・中澤
テニス(女)	生駒・丹羽(さ)
ボート	古田(丈)・古川(伸)・吉井
ソフトボール	市村

文化系部			顧問
吹	奏	楽	古田(真)・國居・(佐藤)
美		術	降簱・酒井
文		芸	竹内
演		劇	市原・水口・(降籏)・[山内]
書		道	井戸(由)・[岩垂]
自	然 科	学	河田
放		送	西尾・[奥田]
アト	マチュアタ	無線	井戸 (清)
1 1 1	ソコ	ン	渡辺 (昌)
新		聞	桂川
进	碁・将	棋	藤澤
手		話	石川・[武山]
	ー ラ	ス	佐藤・丹羽(順)
	同好会		顧問
茶	華	道	小串・[伊藤]

男子クォドルプル 優勝 ◆ボート部 岐阜レガッタ 女子ダブルスカル 3位 諏訪湖レガッタ 男子クォドルプル 2位 男子ダブルスカル 3位 女子クォドルプル 2位 女子ダブルスカル 2位 男子クォドルプル 優勝 男子シングルスカル 2位 岐阜県高校総体 男子総合 優勝 女子クォドルプル 優勝・3位 女子ダブルスカル 優勝 女子シングルスカル 2位・3位 女子総合 優秀 男子クォドルプル 2位 東海高校総体 女子クォドルプル 2位 国体東海ブロック大会 男子クォドルプル 2位 6位 女子ダブルスカル 準々決勝進出 ※全国高校総体 女子クォドルプル 男子クォドルプル 準々決勝進出 岐阜県高校新人大会 男子クォドルプル 優勝•2位 2位 男子シングルスカル 3位 男子ダブルスカル 女子ダブルスカル 優勝•2位 女子クォドルプル 優勝 ※国民体育大会 女子クォドルプル 岐阜選抜 準決勝進出 男子クォドルプル 岐阜選抜 出場 女子ダブルスカル 6位 中部高校選抜大会 女子クォドルプル 2位 ※全国高校選抜大会 女子クォドルプル 3位 ◆弓道部 全国選抜大会県岐阜県予選 女子個人 4位 東海高校弓道選抜大会 女子個人 出場 ◆陸上部 東海陸上競技選手権大会 女子棒高跳び 出場 女子400mH 出場 岐阜県高校新人大会 女子400mH 4 位 東海高校新人大会 女子400mH 出場 ◆卓球部 中部日本卓球選手権大会 男子シングルス 出場 東海卓球選手権大会 男子シングルス 出場 ◆体操競技 東海高校総体 女子個人 出場 女子個人 出場 ※全国高校総体 東海体操選手権大会 女子個人 出場

東海体操選手権大会 女子個人 出場 ※国民体育大会 女子個人 出場

◆吹奏楽部 中部日本吹奏楽コンクール岐阜県大会 金賞

◆美術部 岐阜県高校総合文化祭ポスターコンクール 優秀賞

岐阜県高校総合文化祭美術・工芸展 立体 最優秀賞 デザイン 優秀賞

岐阜県高校総合文化祭書道展 優秀賞

◆文芸部 ※全国高校生「創作コンテスト」 短編小説 入選

◆自然科学部 岐阜県高校総合文化祭自然科学系部活動研究発表会·交流会 奨励賞

◆パソコン部 「ぼくの街わたしの村」マイタウンマップコンクール 岐阜県知事賞

◆放送部 岐阜県高校放送コンテスト アナウンス 2位 テレビドキュメント 2位

※NHK杯全国高校放送コンテスト アナウンス 出場 テレビドキュメント 出場

岐阜県高校放送コンテスト新人大会 アナウンス 3位 ※全国高校放送コンテスト新人大会 アナウンス 出場



## 平成21年度(2009)

体育系部	顧問
陸上	吉川・横井内・富田
柔道	市原・堀江・松原
剣 道	垣下・中澤・前田
弓 道	町井・浅見・小島(礼)
野 球	内海・河田・古川(真)
卓 球	津﨑・藤井・杉山
バスケットボール	林・千葉・中路
バレーボール(男)	二村・熊崎
バレーボール(女)	今井・田中・(熊崎)
サ ッ カ ー	可知・小島(和)
ラ グ ビ ー	矢﨑• 川口
テニス(男)	加藤・仲・(中澤)
テニス(女)	生駒・丹羽(さ)
ボ ー ト	古田(丈)・古川(伸)・汲田
ソフトボール	赤塚・西尾

	文化系部		顧問
吹	奏	楽	古田(真)・長谷川・國居
美		術	降簱・酒井
文		芸	竹内
演		劇	横山・水口・[山内]
書		道	丹羽 (順)・[岩垂]
自	然 科	学	渡辺(悦)・(河田・富田)
放		送	奥田
アマ	アチュア魚	乗線 まんり かんりょう かんりょう かんしょう かんしょう かんしょ かんしょ かんしょ かんしゅう しゅうしゅう かんしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう かんしゅう しゅうしゅう しゅう	井戸
1 %	ソコ	ン	渡辺(昌)
新		聞	桂川
进	碁・将	棋	市村
手		話	石川・[武山]
	ー ラ	ス	佐藤・[近藤]
	同好会		顧問
茶	華	道	小串・[伊藤]

◆ボート部	岐阜レガッタ	男子クォドルプル 優勝・3位 男子ダブルスカル 3位
一い一い	収早レカック	女子クォドルブル 優勝・3位 ガーダブルスカル 3位 女子クォドルプル 優勝 女子ダブルスカル 2位
	諏訪湖レガッタ	男子クォドルプル 4位・6位 男子ダブルスカル 4位
		女子クォドルプル 優勝・最優秀チーム賞 女子ダブルスカル 3位
	岐阜県高校総体	男子クォドルプル 優勝・2位 男子ダブルスカル 優勝
		女子クォドルプル 優勝・2位
		女子ダブルスカル 優勝 女子シングルスカル 3位
	東海高校総体	男子クォドルプル 4位・5位 男子ダブルスカル 5位
	7,413,131,21121,1	女子クォドルプル 優勝・9位 女子ダブルスカル 4位
		女子シングルスカル 9位 女子総合 優勝
	国体東海ブロック大会	男子クォドルプル 2位
		女子ダブルスカル 優勝 女子クォドルプル 2位
	※全国高校総体	女子クォドルプル 準優勝 女子ダブルスカル 準決勝
		男子クォドルプル 準決勝 男子ダブルスカル 準々決勝
	岐阜県高校新人大会	男子クォドルプル 優勝 男子ダブルスカル 3位
		男子シングルスカル 3位 女子クォドルプル 優勝
		女子ダブルスカル 優勝 女子シングルスカル 2位・3位
	※国民体育大会	男子クォドルプル 岐阜選抜 8位
		女子クォドルプル 岐阜選抜 準決勝進出
	中部高校選抜大会	男子クォドルプル 2位 女子クォドルプル 準決勝
		女子ダブルスカル 3位 ※以上3チームは全国選抜大会出場
	※全国高校選抜大会	男子クォドルプル 5位 女子クォドルプル 3位
◆陸上部	岐阜県高校総体	女子400mH 4位 東海大会出場

◆ラグビー部 岐阜県高校総体 4位

◆卓球部 中部日本卓球選手権大会 男子個人 出場 東海卓球選手権 男子•女子 出場

◆ソフトボール部 岐阜県高校総体 3位

◆体操競技 岐阜県高校総体 女子 個人総合 2位 段違い平行棒 2位 平均台 2位 ゆか 2位 ※全国高校総体 女子 個人総合 82位

岐阜県高校新人大会 女子 個人総合1位

女子 ゆか 1位 段違い平行棒 1位 平均台 1位 跳馬3位

デザイン 優秀賞2

◆放送部 岐阜県高校放送コンテスト ※NHK杯全国高校放送コンテスト

テレビドキュメント 1位 アナウンス 6位 テレビドキュメント 出場 アナウンス 出場

※全国高校総合文化祭

アナウンス 出場 ビデオメッセージ 3位

岐阜県高校放送コンテスト新人大会 北信越高校選抜放送大会

ビデオメッセージ 奨励賞

**◆美術部** 岐阜県美術展青年部

岐阜県美術展青年部 徐田 優秀賞

※全国高校総合文化祭美術・工芸展 出品 岐阜県高校写真コンテスト

優秀賞 奨励賞3 優秀賞•奨励賞2

岐阜県高校総合文化祭ポスターコンクール 岐阜県高校総合文化祭写真展

岐阜県高校総合文化祭美術・工芸展

奨励賞 2

◆書道部 岐阜県高校総合文化祭書道展 優秀賞

◆自然科学部 岐阜県高校総合文化祭自然科学系部活動研究発表•交流会 優秀賞

◆囲碁·将棋部 全国高校囲碁選手権岐阜県大会 男子団体 2位 男子個人 ベスト8

東海高校囲碁選手権大会 男子団体 6位

## 平成22年度(2010)

体育系部	顧問
陸上	吉川・大島・井戸
柔道	市原・松原・田中
剣 道	長屋・堀江・前田
弓 道	町井・浅見・小島(礼)
野 球	吉田・岩田・(河田)
卓    球	津崎・安田・杉山
バスケットボール	林・中路・武藤・千葉
バレーボール(男)	二村・熊崎
バレーボール(女)	今井・鹿嶋
サ ッ カ ー	金森・小島(和)
ラ グ ビ ー	矢﨑• 川口
テ ニ ス(男)	小林・仲
テニス(女)	生駒・丹羽(さ)
ボート	古田(丈)・野村・汲田
ソフトボール	赤塚・藤井

	文化系部		顧問
吹	奏	楽	古田(真)・長谷川・國居
美		術	降簱・水口
文		芸	竹内
演		劇	横山・加藤・[山内]
書		道	丹羽(順)・[岩垂]
自	然 科	学	河田・寺下
放		送	渡辺(悦)・[奥田]
アト	マチュア弁	無線	(井戸)
パ	ソコ	ン	渡辺(昌)
新		聞	桂川
进	碁・将	棋	藤澤
手		話	石川・[武山]
	ー ラ	ス	佐藤・(水阪)・[近藤]
	同好会		顧問
茶	華	道	水阪・[伊藤]

◆ボート部 岐阜レガッタ 男子クォドルプル 2位 男子ダブルスカル 2位・3位 女子クォドルプル 優勝•2位 諏訪湖レガッタ 男子クォドルプル 男子ダブルスカル 5位 4位 女子クォドルプル 3位 女子ダブルスカル 6位 岐阜県高校総体 男子クォドルプル 男子シングルスカル 2位 優勝 女子クォドルプル 優勝•2位 男子総合3位 男子クォドルプル 2位 東海高校総体 女子クォドルプル 2位 女子総合3位 2位 国体東海ブロック大会 男子クォドルプル 男子ダブルスカル 3位 女子クォドルプル 3位 ※全国高校総体 男子クォドルプル 5位 女子クォドルプル 7位 岐阜県高校新人大会 男子ダブルスカル 男子クォドルプル 2位 優勝 女子ダブルスカル 女子クォドルプル 優勝 3位 女子シングルスカル 2位 ※国民体育大会 男子クォドルプル 岐阜選抜 4位 準決勝進出 男子クォドルプル 男子ダブルスカル 中部高校選抜大会 優勝 女子クォドルプル 準決勝進出 ◆弓道部 東海高校総体 男子個人 出場 ◆卓球部 中部日本卓球選手権大会 出場 東海卓球選手権大会 出場 ◆ソフトボール部 岐阜県高校総体 2位 岐阜県ソフトボール選手権大会 2位 中日本総合ソフトボール選手権 出場 岐阜県高校新人大会 2位 東海高校ソフトボール新人大会 出場 ◆放送部 岐阜県放送コンテスト テレビドキュメント 3位 ※NHK杯全国高校放送コンテスト テレビドキュメント 出場 北信越高校選抜放送大会 アナウンス 奨励賞 ◆美術部 岐阜県高校総合文化祭ポスターコンクール 最優秀賞・優秀賞・奨励賞 岐阜県高校総合文化祭美術•工芸展 デザイン 奨励賞 立体 奨励賞 優秀賞3・奨励賞3 岐阜県高校総合文化祭写真展 ※全国高校総合文化祭美術・工芸展 岐阜県代表作品 出品2 ◆書道部 岐阜県美術展青年部 優秀賞 岐阜県高校総合文化祭書道展

優秀賞

優秀賞

優秀賞

◆文芸部 NTT西日本コミュニケーション大賞 佳作

岐阜県児童生徒科学作品展

◆自然科学部

◆囲碁・将棋部 全国高校囲碁選手権岐阜県大会 男子団体 2位 東海高校囲碁選手権大会 男子団体 4位

岐阜県高校総合文化祭自然科学系部活動研究発表•交流会

◆吹奏楽部 中部日本吹奏楽コンクール岐阜県大会 金賞 ※全国総合文化祭出場



## 平成23年度(2011)

体育系部	顧問
陸上	吉川・大島・丹羽(沙)
柔道	石井・松原・溝際
剣 道	長屋・堀江・真船
弓 道	町井・野村・小島(礼)
野 球	吉田・岩田・竹内・(河田)
卓 球	津崎・安田・杉山
バスケットボール	武藤・出川・林・千葉
バレーボール(男)	二村・熊崎
バレーボール(女)	今井・渡辺(悦)
サ ッ カ ー	金森・小島(和)・木澤
ラ グ ビ ー	矢﨑• 川口
テ ニ ス(男)	小林・仲
テニス(女)	生駒・丹羽(さ)
ボート	古田(丈)・田之本・汲田
ソフトボール	赤塚・森

	文化系部		顧問
吹	奏	楽	古田(真)・長谷川・天野
美		術	降簱・水口
文		芸	山本
演		劇	横山・加藤・[山内]
書		道	田中・[岩垂]
自	然 科	学	河田・中澤
放		送	市原
11	ソコ	ン	白木
新		聞	桂川
囲	碁・将	棋	藤澤
手		話	前田・[武山]
	ー ラ	ス	佐藤・(田中)・[武藤]
	同好会		顧問
茶	華	道	(前田)・[伊藤]

◆ボート部 諏訪湖レガッタ 男子クォドルプル 6位 男子ダブルスカル 5位

女子クォドルプル 準優勝

岐阜県高校総体 男子シングルスカル 3位 男子ダブルスカル 2位

男子クォドルプル 2位 男子総合 優勝

女子シングルスカル 2・3位 女子ダブルスカル 2位

女子クォドルプル 優勝 女子総合 優勝

東海高校総体 男子クォドルプル 3位 女子クォドルプル 5位

国体東海ブロック大会 男子クォドルプル 岐阜選抜 1位

女子クォドルプル 岐阜選抜 3位

※全国高校総体 女子クォドルプル 準々決勝進出

岐阜県高校新人大会 男子クォドルプル 優勝・3位 男子ダブルスカル 3位

男子シングルスカル 3位 女子クォドルプル 2位 女子ダブルスカル 2位 女子シングルスカル 優勝

※国民体育大会 男子クォドルプル 岐阜選抜 5位

中部高校選抜大会 男子クォドルプル 2位 女子シングルスカル 5位

※全国高等学校選抜大会 女子シングルスカル 出場 男子クォドルプル 優勝 ※全国優勝

◆ソフトボール部 岐阜県高校総体 2位

中日本総合ソフトボール選手権 出場 岐阜県高校新人大会 3位

◆卓球部 岐阜県高校生卓球選手権大会 女子個人 4位

東海卓球選手権大会 出場

◆剣道部 東海高校総体 女子個人 出場

岐阜県高校新人大会 男子個人 3位 女子団体 3位

◆美術部 岐阜県美術展青年部 写真 優秀賞

岐阜県高校総合文化祭ポスターコンクール 奨励賞2

岐阜県高校総合文化祭美術・工芸展 絵画 優秀賞 立体 奨励賞

岐阜県高校総合文化祭写真展 最優秀賞・奨励賞 4

◆書道部 岐阜県美術展青年部 書道 優秀賞

岐阜県高校総合文化祭書道展 最優秀賞

◆自然科学部 ※全国高校総合文化祭 出場

岐阜県高校総合文化祭自然科学系部活動研究発表•交流会 特別賞

◆文芸部 岐阜県高文連文芸コンクール 詩 2位

◆吹奏楽部 中部日本吹奏楽コンクール岐阜県大会 金賞

## 平成24年度(2012)

体育系部	顧問
陸上	吉川・大島・川瀬
柔道	須賀・松原・溝際
剣 道	長屋・可知
弓 道	安田・丹羽(沙)・小島(礼)
野球	吉田・竹内・河田・井上
卓    球	津崎・奥田・杉山
バスケットボール(男)	水谷・出川
バスケットボール(女)	武藤・若園
バレーボール(男)	二村・熊崎
バレーボール(女)	今井・田中
サッカー	金森・小島(和)・影浦
ラ グ ビ ー	矢﨑• 川口
テ ニ ス(男)	小林・丹羽(さ)
テニス(女)	生駒・仲
ボート	古田(丈)・夏目・白木
ソフトボール	赤塚・坪内

	文化系部		顧問
吹	奏	楽	古田(真)・長谷川・天野
美		術	降簱・水口
文		芸	山本
演		劇	横山・加藤・[山内]
書		道	田中・真船・[岩垂]
自	然 科	学	木澤・中澤
放		送	渡辺
11	ソコ	ン	田之本
新		聞	桂川
进	碁・将	棋	藤澤
手		話	前田・[武山]
$\Box$	ー ラ	ス	佐藤・山田・[武藤]
	同好会		顧問
茶	華	道	櫻井・[伊藤]

◆ボート部 岐阜レガッタ 男子クォドルプル 3位 女子クォドルプル 4位

岐阜県高校総体 男子クォドルプル 優勝 男子総合2位

女子シングルスカル 3位 女子ダブルスカル 3位

女子クォドルプル 優勝 女子総合 優勝

東海高校総体 男子クォドルプル 4位

女子クォドルプル 優勝 女子ダブルスカル 6位 女子総合 2位

全日本ジュニア選手権 男子3名 出場 女子4名 出場

福井レガッタ男子クォドルプル優勝女子クォドルプル優勝※全国高校総体男子クォドルプル準優勝女子クォドルプル準優勝岐阜県高校新人大会男子クォドルプル2位男子シングルスカル優勝

女子クォドルプル 優勝・3位 女子ダブルスカル 3位

女子シングルスカル 優勝

※国民体育大会 男子クォドルプル 岐阜選抜 準優勝

女子クォドルプル 岐阜選抜 5位

全日本新人大会 男子ダブルスカル 4位 女子クォドルプル 5位

中部高校選抜大会 女子クォドルプル 優勝

※全国高校選抜大会 女子クォドルプル 優勝 ※全国優勝

◆ソフトボール部 岐阜県高校総体 3位

岐阜県ソフトボール選手権 2位

◆弓道部 全国高校選抜大会岐阜県予選 女子個人 5位

◆剣道部 岐阜県高校新人大会 女子個人 3位

◆美術部 岐阜県美術展青年部 絵画 優秀賞 デザイン 優秀賞

岐阜県高校総合文化祭ポスターコンクール奨励賞3全国高校総合文化祭美術・工芸展連盟賞3岐阜県高校総合文化祭写真展優秀賞・奨励賞

岐阜県高校総合文化祭美術・工芸展 絵画 奨励賞 デザイン 奨励賞

◆書道部 岐阜県美術展青年部 書道 優秀賞

岐阜県高校総合文化祭書道展 奨励賞

◆自然科学部 岐阜県児童生徒科学作品展 優秀賞

岐阜県高校総合文化祭自然科学系部活動研究発表•交流会 特別賞

◆文芸部 中日新聞サンデー版300文字小説 優秀賞

◆囲碁·将棋部 全国高校囲碁選手権岐阜県大会 男子団体 3位

◆吹奏楽部 中部日本吹奏楽コンクール岐阜県大会 金賞



## 平成25年度(2013)

体育系部	顧問
陸上	吉川・川瀬・生駒
柔道	渡辺(俊)・松原・溝際
剣 道	長屋・可児
弓 道	丹羽(沙)・須田・小島(礼)
野 球	吉田・竹内(洋)・河田
卓    球	津崎・酒向・杉山
バスケットボール(男)	若園・吉井
バスケットボール(女)	夏目・渡邉(克)・[ 長谷川 ]
バレーボール(男)	二村・出川
バレーボール(女)	今井・竹内(沙)
サ ッ カ ー	金森・小島(和)・影浦
ラ グ ビ ー	矢﨑• 川口
テニス(男)	小林・丹羽(さ)
テニス(女)	白井・山田(幸)
ボート	古田(丈)・浅野・栗木・[西原]
ソフトボール	坪内・高木

	文化系部		顧問
吹	奏	楽	古田(真)・長谷川・山内(生)
美		術	村瀬・水口
文		芸	山本
演		劇	横山・加藤・[山内(一)]
書		道	田中・(溝際)・[岩垂]
自	然 科	学	木澤・中澤
放		送	守屋
1 1	ソコ	ン	田之本・清水
新		聞	桂川
进	碁・将	棋	渡辺 (悦)
手		話	前田・[武山]
	ー ラ	ス	佐藤・山田(千)・[武藤]
	同好会		顧問
茶	華	道	櫻井・[ 伊藤 ]

◆ボート部 岐阜レガッタ 女子クォドルプル 優勝・6 位

諏訪湖レガッタ 男子クォドルプル 4位 女子クォドルプル 優勝

岐阜県高校総体 男子クォドルプル 優勝 男子総合 3位

女子クォドルプル 優勝・3位 女子総合優勝

東海高校総体 男子クォドルプル 4位

女子クォドルプル 優勝・5位 女子総合優勝

全日本ジュニア選手権 男子4名 出場 女子6名 出場

※全国高校総体 男子クォドルプル 3位 女子クォドルプル 優勝 ※全国優勝

福井レガッタ 男子クォドルプル 2位 男子シングルスカル 4位

女子クォドルプル 優勝

※国民体育大会 女子クォドルプル 岐阜選抜 優勝 ※全国優勝

男子クォドルプル 岐阜選抜 5位

岐阜県高校新人大会 男子クォドルプル 優勝 男子ダブルスカル 2位

男子シングルスカル 2位

女子クォドルプル 優勝・2位 女子ダブルスカル 3位

中部高校選抜大会 男子クォドルプル 4位 女子クォドルプル 優勝

※全国選抜大会 男子クォドルプル 4位 女子クォドルプル 優勝 ※全国優勝

◆剣道部 岐阜県高校剣道大会 女子団体 3位

◆美術部 岐阜県高校総合文化祭ポスターコンクール 奨励賞

※全国高校総合文化祭美術・工芸展 文化連盟賞

◆吹奏楽部 中部日本吹奏楽コンクール岐阜県大会 金賞

中部日本吹奏楽個人重奏コンテスト トランペット 金賞 アルトサキソフォン 金賞

以上、東海大会出場

◆書道部 岐阜県美術展青年部 書道の部 優秀賞

岐阜県高校総合文化祭書道展 優秀賞

◆囲碁·将棋部 岐阜県高校総合文化祭囲碁新人大会 男子団体 3 位

◆自然科学部 岐阜県児童生徒科学作品展 優秀賞3

岐阜県高校総合文化祭自然科学系部活動研究発表·交流会 最優秀賞·審査員特別賞·奨励賞

※全国高校総合文化祭 出場

◆文芸部 岐阜県高校文芸コンクール 詩 最優秀賞(第1位)

## 平成26年度(2014)

体育系部	顧問
陸上	吉川・川瀬・生駒
柔道	渡辺(俊)・松原・溝際
剣 道	長屋・水口
弓 道	鹿嶋・須田・(丹羽(沙))
野球	吉田•竹内(洋)•中島•(河田)
卓    球	津﨑・田之本・杉山
バスケットボール (男)	若園・吉井
バスケットボール(女)	津田・紀藤・[高野]
バレーボール(男)	出川・渡邊(克)
バレーボール(女)	今井・竹内(紗)
サッカー	金森・小島(和)・影浦
ラ グ ビ ー	矢﨑• 小林
テニス(男)	神谷・丹羽(さ)
テニス(女)	白井・山田(幸)
ボート	古田(丈)・夏目・浅野・栗本
ソフトボール	坪内・山内(生)

	1 " - +	_	
	文化系部	ß	顧問
吹	奏	楽	古田(真)・長谷川・赤池・安江
美		術	村瀬・丹羽(沙)
文		芸	山本
演		劇	横山・加藤・[山内(一)]
書		道	田中・髙木・[岩垂]
自	然 科	学	木澤・河田
放		送	可児
パ	ソコ	ン	木村・小島(礼)
新		聞	桂川
进	碁・将	棋	渡邊 (悦)
手		話	前田・[武山]
$\Box$	ー ラ	ス	佐藤・高木(志)・[武藤]
	同好会		顧問
茶	華	道	櫻井・[伊藤]

◆ボート部 岐阜レガッタ 男子クォドルプル 3位 女子クォドルプル 男子ダブルスカル 諏訪湖レガッタ 男子クォドルプル 5位 2位 女子クォドルプル 2位・3位 女子ダブルスカル 2位 2位 女子シングルスカル 男子クォドルプル 男子ダブルスカル 2位・3位 岐阜県高校総体 3位・4位 男子シングルスカル 5位 男子総合3位 女子クォドルプル 優勝・2位・3位 女子ダブルスカル 女子総合 優勝 女子シングルスカル 全日本ジュニア選手権 5位 ※U19日本代表・世界ジュニア選手権出場 男子クォドルプル 東海高校総体 4位 女子クォドルプル 優勝 女子ダブルスカル 優勝 女子総合 優勝 男子クォドルプル 女子クォドルプル 国体東海ブロック大会 優勝 優勝 女子クォドルプル ※全国高校総体 優勝 ※全国優勝 男子クォドルプル 岐阜県高校新人大会 男子ダブルスカル 4位 2位 女子クォドルプル 優勝•3位 女子クォドルプル ※国民体育大会 岐阜選抜 優勝 ※全国優勝 男子クォドルプル 岐阜選抜 8位 女子クォドルプル 中部高校選抜大会 優勝 ※全国高校選抜大会 女子クォドルプル 5位 ◆テニス部 岐阜県高校新人大会 男子団体 ベスト8 東海中日ジュニア選手権 女子ダブルス 県ベスト8 岐阜県高校新人大会 女子団体 3位 女子ダブルス 出場 ◆卓球部 東海卓球選手権大会 女子シングルス出場 県ベスト4(合同チーム) 岐阜県高校新人大会 ◆ラグビー部 出場 東海選抜大会

東海選抜大会 出場

◆ソフトホーハ部 岐阜県高校総体 2位

岐阜県ソフトボール選手権 優勝

中日本総合選手権 出場

岐阜県高校新人大会 優勝

※全国選抜大会 出場

◆囲碁・将棋部 全国高校将棋選手権岐阜県大会 男子個人 優勝 ※全国大会出場 全国高校将棋竜王戦岐阜県大会 男子個人 優勝 ※全国大会出場 東海三県高校将棋大会 男子個人 優勝 ※全国大会出場

東海二県高校将棋大会 男子個人 優勝 ※全国高校将棋竜王戦 男子個人 ベスト8 岐阜県高校総合文化祭囲碁新人大会 男子団体 3 位

岐阜県高校総合文化祭将棋新人大会 男子個人 優勝 ※全国大会出場 ※全国高校文化連盟将棋新人大会 男子個人 優勝 ※全国優勝 東海三県高校将棋大会 男子個人 優勝 第全国優勝

◆書道部 岐阜県美術展青年部 書道 優秀賞 岐阜県高校総合文化祭書道展 優秀賞

◆美術部 岐阜県高校総合文化祭ポスターコンクール 奨励賞

岐阜県高校総合文化祭美術・工芸展 絵画 優秀賞・奨励賞 2

◆自然科学部 ※全国高校総合文化祭 文化連盟賞 岐阜県児童生徒科学作品展 最優秀賞 2 岐阜県高校総合文化祭自然科学系部活動研究発表・交流会 審査員特別賞・特別賞

◆吹奏楽部 中部日本吹奏楽コンクール岐阜県大会 金賞◆コーラス部 岐阜ヴォーカルアンサンブルコンテスト 奨励賞



## 平成27年度(2015)

体育系部	顧問
陸 上 競 技	吉川・杉山(典)・生駒
柔道	酒井・松原・山内(生)
剣 道	長屋・水口
弓 道	鹿嶋・林・(河田)
野 球	吉田・竹内・中島・土井
卓    球	津﨑・杉山(清)・安江
バスケットボール(男)	若園・佐藤(正)
バスケットボール(女)	津田・紀藤・[高野]
バレーボール(男)	出川・丸谷
バレーボール(女)	今井・藤村
サ ッ カ ー	金森・安達
ラ グ ビ ー	矢﨑• 小林
テニス(男)	柴田・丹羽(さ)
テニス(女)	白井・神谷
ボート	古田(丈)・境田・羽中田・栗本
ソフトボール	坪内・森島・[赤塚]

	文化系	部	顧問
吹	奏	楽	須田・岸・長谷川・[古田(真)]
美		術	降簱・田之本
文演		芸	高木(志)
演		劇	横山・加藤・[山内(一)]
書		道	田中・髙木(小)・[岩垂]
自	然和	学	木澤・河田
放		送	可児
11	ソニ	1 ン	木村・小島
新		聞	桂川
囲	碁・ギ	好 棋	渡辺(俊)・渡邊(克)
手		話	前田・[武山]
	_ =	, A	佐藤(恵)・山田・[武藤]
	同好会		顧問
茶	華	道	櫻井

女子クォドルプル優勝女子ダブルスカル2位・3位女子シングルスカル2位・3位女子総合優勝

全日本ジュニア選手権 男子2名出場 女子5名 出場

東海高校総体 男子ダブルスカル 優勝 男子総合 3位

女子クォドルプル 2位 女子ダブルスカル 4位 女子総合 2位

国体東海ブロック大会 男子クォドルプル 優勝 ※岐阜選抜国体出場(1名)

※全国高校総体 女子クォドルプル 5位

※国民体育大会 男子クォドルプル 岐阜選抜7位

岐阜県高校新人大会 男子クォドルプル 2位 男子ダブルスカル 優勝

男子シングルスカル 優勝 女子クォドルプル 優勝・3位

女子ダブルスカル 2位 女子シングルスカル 3位

中部高校選抜大会 男子シングルスカル 女子クォドルプル ※全国選抜大会出場

※全国高校選抜大会 男子シングルスカル 3位 女子クォドルプル 3位

◆ラグビー部 東海高校10人制交流大会 県3位(合同チーム)

◆ソフトボール部 岐阜県高校総体 3位

岐阜県ソフトボール選手権 2位

岐阜県高校新人大会 優勝 ※全国選抜大会・東海大会出場

◆囲碁·将棋部 全国高校囲碁選手権岐阜県大会 男子団体 3位

全国高校将棋選手権岐阜県大会 男子個人 優勝 ※全国大会出場

全国高校将棋竜王戦岐阜県大会 男子個人 2 位 ※全国高校将棋選手権 男子個人 5 位

岐阜県高校総合文化祭将棋新人大会 男子個人 優勝 ※全国大会出場

※全国高校文化連盟将棋新人大会 男子個人 5位

◆自然科学部 岐阜県児童生徒科学作品展 最優秀賞 2

岐阜県高校総合文化祭自然科学系部活動研究発表•交流会 最優秀賞•審査員特別賞

※全国高校総合文化祭 出場

◆書道部 岐阜県美術展青年部 書道 優秀賞

岐阜県高校総合文化祭書道展 優秀賞

◆美術部 岐阜県高校総合文化祭写真展 奨励賞

岐阜県高校総合文化祭美術・工芸展 絵画 優秀賞

◆吹奏楽部 中部日本吹奏楽コンクール岐阜県大会 金賞

◆コーラス部 岐阜ヴォーカルアンサンブルコンテスト 金賞

## 平成28年度(2016)

体育系部	顧問
陸 上 競 技	吉川・杉山(典)・生駒
柔道	酒井・前田・佐藤
剣 道	長屋・水口
弓 道	井上・鹿嶋・林
野 球	土井・吉田・中島
卓    球	境田・杉山(清)・安江
バスケットボール(男)	紀藤・小島(知)・[高野]
バスケットボール(女)	津田・渡邉(克)
バレーボール(男)	出川・丸谷
バレーボール (女)	今井・橋本
サッカー	金森・安達
ラ グ ビ ー	矢﨑• 小林
テニス(男)	柴田・織部
テニス(女)	白井・大塚
ボート	古田(丈)・山田(駿)・羽中田・栗本
ソフトボール	竹内・成瀬・[赤塚]

		_	
	文化系统	部	顧問
吹	奏	楽	鈴木・岸・武田・[渡邉(綠)]
美		術	降簱・田之本
文		芸	高木(志)
演		劇	加藤・横山・[山内]
書		道	髙木(小)・田中・[岩垂]
自	然 科	学	木澤・河田
放		送	可児
パ	ソニ	1 ン	石井
新		聞	桂川
进	碁・将	<b>科</b>	渡辺(俊)・長谷川
手		話	後藤・[武山]
$\Box$	_ =	, ス	山田(千)・小島(礼)・[武藤]
同好会			顧問
茶	華	道	櫻井・木村

◆ボート部 岐阜レガッタ 女子クォドルプル 5位 女子ダブルスカル 6位

諏訪湖レガッタ 男子クォドルプル 優勝 男子ダブルスカル 5位

女子クォドルプル 2位・6位 女子シングルスカル 優勝・6位

岐阜県高校総体 男子クォドルプル 2位 男子ダブルスカル 3位

男子シングルスカル 3位 男子総合 3位

女子クォドルプル 優勝・3位 女子ダブルスカル 2位

女子総合 優勝

全日本ジュニア選手権 男子 6位 ※日本代表決定 女子 8位

東海高校総体 男子クォドルプル 4位 女子クォドルプル 優勝

女子総合 優勝

国体東海ブロック大会 男子クォドルプル 優勝 ※岐阜選抜国体出場(1名)

女子クォドルプル 優勝 ※岐阜選抜国体出場(5名)

※全国高校総体 女子クォドルプル 2 位 ※世界ジュニア選手権 男子クォドルプル 23位

岐阜県高校新人大会 男子クォドルプル 2位 男子ダブルスカル 3位・6位

男子シングルスカル 5位・6位

女子 クォドルプル 優勝・2位 女子ダブルスカル 3位・6位

女子シングルスカル 3位

※国民体育大会 男子クォドルプル 岐阜選抜 2位 女子クォドルプル 岐阜選抜 6位

※アジアジュニア選手権 男子クォドルプル 出場

中部高校選抜大会 男子クォドルプル 準決勝進出

女子クォドルプル 優勝 ※全国選抜大会出場

※全国高校選抜大会 女子クォドルプル 優勝 ※全国優勝

◆ソフトボール部 ※全国高校選抜大会 出場

 岐阜県高校総体
 優勝

 東海高校総体
 2 位

 ※全国高校総体
 出場

 岐阜県高校新人大会
 準決勝進出

◆囲碁·将棋部 全国高校囲碁選手権岐阜県大会 男子団体 3位

全国高校将棋選手権岐阜県大会 男子個人 優勝 ※全国大会出場

全国高校将棋竜王戦岐阜県大会 男子個人 5位 ※全国高校将棋選手権 男子個人 5位

◆自然科学部 ※全国高校総合文化祭 ポスター発表 文化連盟賞

岐阜県高校総合文化祭自然科学系部活動研究発表•交流会 優秀賞•努力賞

◆書道部 岐阜県高校総合文化祭書道展 優秀賞 ◆美術部 岐阜県高校総合文化祭写真展 奨励賞 2

岐阜県高校総合文化祭美術・工芸展 デザイン 奨励賞2 立体 優秀賞・奨励賞2



## 平成29年度(2017)

体育系部	顧問
陸 上 競 技	杉山(典)・吉川・生駒
柔道	酒井・佐藤
剣 道	長屋・瓜田
弓 道	井上・髙木(小)・林
野球	土井・吉田・河合・(中島)
卓 球	境田・杉山(清)・安江
バスケットボール(男)	安田・青木・[高野]
バスケットボール(女)	津田・五島・[高野]
バレーボール(男)	出川・小島(知)
バレーボール(女)	丸谷・門
サッカー	金森・安達
ラ グ ビ ー	矢﨑• 小林
テニス(男)	柴田・織部
テニス(女)	白井・大塚
ボート	古田・山田(駿)・羽中田・田中(美)
ソフトボール	竹内・成瀬・[赤塚]

	文化系部	ß	顧問
吹	奏	楽	鈴木・澤田・青井
美		術	降簱・田之本
文		芸	岸
演		劇	横山・市村・[山内]
書		道	田中(里)・鹿嶋・[岩垂]
自	然 科	学	木澤・河田
放		送	可児
11	ソコ	ン	石井
新		聞	桂川
囲	碁・将	棋	渡辺
手		話	後藤・[武山]
	ー ラ	ス	山田(千)・小島(礼)・[武藤]
同好会			顧問
茶	華	道	木村・[高木(久)・櫻井]

◆ボート部 岐阜レガッタ 男子ダブルスカル 優勝 女子クォドルプル 3 位

諏訪湖レガッタ 男子クォドルプル 6位

女子クォドルプル 優勝 女子シングルスカル 5位

岐阜県高校総体 男子ダブルスカル 優勝 男子クォドルプル 3位

男子シングルスカル 3位 男子総合 2位

女子クォドルプル 優勝・2位 女子シングルスカル 優勝

※岐阜選抜国体出場(6名)

女子総合 優勝

東海高校総体 女子クォドルプル 優勝 男子ダブルスカル 3位

国体東海ブロック大会 男子クォドルプル 優勝 ※岐阜選抜国体出場(3名)

女子クォドルプル

※全国高校総体 女子クォドルプル 優勝 男子ダブルスカル 準々決勝進出

優勝

※世界ジュニア選手権 女子ダブルスカル 11位

岐阜県高校新人大会 男子クォドルプル 2位 男子ダブルスカル 3位

男子シングルスカル 3位

女子 クォドルプル 2位 女子ダブルスカル 3位

※国民体育大会 男子クォドルプル 岐阜選抜8位

※アジアジュニア選手権 女子クォドルプル 優勝

中部高校選抜大会 男子クォドルプル 4位 ※全国選抜大会出場

女子クォドルプル 優勝 ※全国選抜大会出場

◆ラグビー部 東海高校10人制交流大会 2位(合同チーム)

◆ソフトボール部 岐阜県ソフトボール選手権 2位

岐阜県高校新人大会 優勝 ※全国選抜大会・東海大会出場

◆自然科学部 ※全国高校総合文化祭 自然科学部門 生物部門 文化連盟賞

岐阜県高校総合文化祭自然科学系部活動研究発表•交流会 優秀賞

◆書道部 岐阜県美術展青年部 書道 優秀賞

岐阜県高校総合文化祭書道展 優秀賞

◆美術部 岐阜県高校写真コンテスト 奨励賞 2

岐阜県高校総合文化祭美術・工芸展 絵画 奨励賞2

岐阜県高校総合文化祭写真展 奨励賞

## 平成11年度 全国大会出場

### 剣道部

全国高校総体 男子個人 3回戦進出 平成11年8月 岩手県

渡辺裕之

各県の予選を勝ち抜いた選手が参加するこの大会は、 自分の実力を試す良い機会になりました。岐阜県の選手 150名の代表に選ばれたことをとても光栄に思います。

試合は一回戦から苦戦しましたが、三回戦(ベスト32)まで勝ち上がることができてとても嬉しかったです。そして岩手県まで行き全国から集まった人たちの剣道が観戦でき、自分のためになっただけでなく、楽しむことができ、有意義な日を送ることができました。

自分自身、得たことがたくさんあり、ここでの体験を 生かして一層、剣道に励んでいきたいと思います。

## 平成12年度 全国大会出場

### 全国高校総体岐阜大会

必要とされた私たちの仕事

市原三穂

私の空手道競技の補助員としての役割は「記録・配布係」でした。その仕事の内容は、大会の進行をスムーズにするため選手の名前を書いた紙をまわしたり、結果を速報したりするものでした。

担当の先生から「大会を上手に進行するためにとても大切な係だから、頑張ろう」ということを言われましたが、その時は、あまり実感が持てないでいました。なぜなら、私達の仕事はほとんど一つの部屋から出ることはなく、空手道の選手や大会の様子を直接見る機会が少ないため、仕事の実感がわかないでいたからです。

しかし、大会終了後、偶然選手の人々と話すことができました。彼等は試合に負けた悔しさや、上位に進めた うれしさで泣いていました。

「この人たちの試合を支えて、運営をスムーズに進行させたのは、私たちの仕事によるものなんだ。」ということを思ったとき、なんだか充実した気分になりました。

補助員の仕事はとても大変でしたが、普段は直接関わることのできない空手を見ることができ、また〈インターハイ〉という大きな大会を運営する手助けができて、すごく満ち足りたいい思い出になりました。

#### 放送部員として参加して

福 井 梓

私は、8月1日に行われた総合開会式のアナウンスを 担当しました。昨年6月に、式典アナウンサーの選考会 が開かれ、7月に私を含む11名がアナウンサーに決定し ました。結果発表が予定よりも遅れ、期待と不安が入り 混じった毎日を送っていた私にとって、合格を知った時 の興奮は忘れられません。9月からは、毎月1回、プロ のアナウンサーの方にアナウンスの基礎から丁寧に指導 していただきました。広い競技場で、たくさんの人に、 いかに気持ちのこもったアナウンスができるかが一番苦 労した点でした。7月に入ると、翌日のリハーサルに備 えて泊まりこみで練習する日もありました。朝6時過ぎ からのアナウンスは体力勝負です。数々の苦労を乗り越 えて迎えた8月1日、総合開会式当日。練習を積み重ね て自信もつき、緊張することもなくアナウンスできまし た。自分の一声で、全国から集まった選手・観客のみな さんの心を一つにするお手伝いができたことは、自分の 未来の1ページを切り開いてゆく大きな自信になりまし た。最後になりましたが、長い間ご指導くださいました 先生方、NHKの清水・山極アナウンサー、岐阜放送の 神田アナウンサー、本当にありがとうございました。







### 平成13年度 国際大会出場

#### ボート部

世界ジュニア選手権 女子クォドルプル7位 平成13年8月 ドイツ

世界を相手に漕ぎました

奥村麻友

〈Aファイナル〉出場。私を含む、今年の〈世界ジュニア選手権〉女子日本代表4人の目標はこれでした。この目標を目指し私たち4人は約2カ月間、必死に頑張ってきました。過去にジュニアの日本クルーが〈Aファイナル〉に残ったことはありません。まして、過去のクルーに比べ体力レベルも低めで、それぞれが個性的な"漕ぎ"をしていた私たち4人にとってそれは夢に近いものでした。

7月半ばの国内事前合宿を終え、7月の下旬に私たちはイタリアへ渡り、そこでシニアチームと合同合宿(日本との時差や気候の違いに体を慣らすために試合会場に近い地域で行う合宿)に入りました。イタリアでの練習による疲労と今までにない長期間の合宿生活、慣れない海外生活のストレスはピークに達していました。そんな中で喧嘩もしました。何度も何度も日本に帰りたいと思いました。それでも私たちはそれを表に出さず、「自分たちはボートを漕ぐためにここまできているのだから」と個人のことは後まわしにして、ボートのことのみ考えるようにしなければなりませんでした。決して雰囲気がいいとは言えませんでした。

私たちはその状態でドイツへ移り、そして会場入りしました。そこで私たちは初めて他国のクルーを見、そして、練習とはいえ、その速さや完成度の高い"漕ぎ"を目の当たりにして、自分がそれまで小さなことに満足していたことを改めて知りました。私はそれまで、自分でも気付かないうちに日本代表になれたということのみに満足してしまっていたことを知ったのです。

そこからの集中力は後で考えてみると、自分でも驚くほどでした。会場入りしてから約一週間後、いよいよ大会が始まりました。

一日目、予選。同じ組に優勝候補と言われるドイツがいました。6 艇中上位1 艇が〈Aファイナル〉への出場権を得ます。今までの成果を出そうと必死で漕ぎました。結果は5位。世界のレベルの高さを感じさせられましたが、落ち込んでいる暇はありません。次の日の敗者復活戦で2位以上なら〈Aファイナル〉へ行くことができるのです。

敗復日。昨日と同じように順調にスタートダッシュを決めました。コース内は風が舞っていました。結果は3位。ゴールしてすぐに自分たちが3位だったということを知り、ショックでした。しかし、結果がどうであれ、チャレンジし、精一杯やりきったことに私たちは満足していました。夜のミーティングでその日の反省をし、残された⟨Bファイナル⟩で絶対に1位になろうと誓いました。

最終日、〈Bファイナル〉。ここで1位になれば総合で7位となり、過去の日本代表クルーの最高順位に並びます。

しかし、実際のところ、私たちはすでにタイムや結果について全く頭にありませんでした。自分たちにできる最高のパフォーマンスをしよう、考えていたのはそれだけです。それまで耐えてきた厳しい練習、意見のすれ違いを乗り越えたこと、みんなの応援、すべてのことが私たちの自信となっていました。出艇前のミーティングでコーチに最後の言葉をいただき、私たちは出艇しました。約2カ月の間、一緒に頑張ってきた4人での最後のレース。いよいよスタート。

すべての力を出し切りゴール、その結果1位。2位のイタリアクルーに4秒近い差をつけてのゴールでした。ゴールから桟橋に向かう間にあるスタジアムにいる人々に大きな声援と拍手をもらいました。すべてが終わり、2カ月以上の緊張がようやく安心にかわりました。

これらの貴重な経験は自分一人だけの力によってできたのではありません。指導し、励まし、チャンスをくださった先生、応援し、支援してくれた友達、親、そして三年間楽しい時も辛い時も共に支えあってきた9人の仲間、本当にたくさんの人たちのおかげです。私がこの夏経験したすべてのことと、感謝する気持ちを決して忘れず、これからもさらなる飛躍をとげられるよう努力したいと思います。

### 平成13年度 全国大会準優勝

ボート部

全国高校総体 女子クォドルプル準優勝 平成13年8月 熊本県

北村美穂

2001年夏、〈ひのくに新世紀総体〉。私達はこの大会に向けて、毎日厳しいトレーニングを積み重ねてきました。春の選抜大会では2位に入り、全国制覇の夢がいよいよ目標に変わりました。〈インターハイ〉本番までも、調子を落とし苦しんだ時期もありましたが、諏訪湖レガッタでの優勝をはじめ、出た試合すべてで3位以上の成績を収めることができました。そして、大会直前の合宿はリズムに乗って力強く漕げるようになり、これなら勝てるという自信を持って熊本へ出発しました。

熊本は「火の国」というだけあってとても暑く感じましたが、 本番までの配艇練習でも好調を維持することができ、暑さな ど全く影響ありませんでした。

そして迎えた8月9日、予選。スタートからうまくいき、スパートを終えた時点ですでに他クルーに差をつけ、その後もリズムにのって漕ぎ切り、大差をつけて一着でゴールしました。一本ごとに他クルーの背中が遠くなっていくのが分かり、レースを楽しむ余裕さえありました。ただ、競っていないこともありましたが、後半にスピードが大分落ちてしまったので、そこを課題とし、準々決勝に臨むことにしました。

8月11日、準々決勝。去年の大会では、ここで涙をのんだので、気を引き締めてスタート位置につけました。得意のスタート、スパートでトップに出ることができましたが、隣のレーンのクルーとは僅かな差で勝負は終盤に持ち越されました。

750メートル地点を過ぎてラストスパートをかけ、そこで突き離して1着でゴールしました。今までの試合の中でも一番と言っていいほど会心のレースであり、さらに全クルーの中でのトップタイムというおまけ付きで、その夜のミーティングでは、準決勝も、今日のレースの再現をするという目標を立てました。

8月12日、準決勝。さすがに準決勝だけあって、強豪校 がそろい、緊張も高まってきました。同じ組には選抜大会で 私たちが大差をつけられ負けたクルー(つまり選抜大会の優 勝クルー) もおり、緊張からか、レース開始までのアップでも 多少ぎこちなさがありました。スタートは成功し、トップでコン スタントに入ることができましたが、途中でばたつき、リズム に乗り切れませんでした。それでも、なんとか終盤までトップ をキープし、あと150メートルでゴールという所で、クルーの 中の一人が腹切りをし、その瞬間、艇は失速し、1クルーに は抜かれ、500メートル地点では5秒以上の差をつけていた クルーにも瞬く間に追い付かれ、あっという間に優勝どころか 決勝進出さえ危ない状況に追い込まれました。幸い、すぐに 漕ぎ出すことができ、残り100メートルほどを無我夢中で漕ぎ ました。ゴールしてから結果の放送が流れるまで、「こんな形 で大会を終えるのか…」という悪い予感が頭をよぎり、不安 で一杯でした。結果は写真判定で2位。本当に僅かな差で 無事に決勝に進むことができました。はらはらしましたが、腹 切りをした本人だけが悪いのではなく、硬くなっていた全員 に責任があるということで、このことがきっかけで硬さもとれ、 集中して決勝を迎えることができました。

そしてついに決勝。準決勝と決勝は同日にあるため、体 力的に厳しいはずなのですが、一日に2本漕いでもたった 2キロ。「2本を全力で漕げるだけの練習をしてきた」という 自信から疲れはほとんど感じていませんでした。また、決勝 までの短い休憩時間に、惜しくも決勝に進めなかった他校 の友達が、応援に来てくれ、大きな力をもらいました。入 念にアップを済ませ、スタート位置につけた時、あんなに憧 れていた〈インターハイ〉の決勝の大舞台だというのに、思っ ていた程緊張することもない自分がそこにいるのが不思議 な気持ちになりました。しかし、それも一瞬で、優勝するん だという全員の強い気持ちが最高頂に達した時、「よーい、 ゴー」の声と同時に一斉にスタートしました。今まで積み重 ねてきたことを全部ぶつけ、無心で漕ぎました。レースは接 戦で、どのクルーが1位になってもおかしくない状況でした。 しかし、選抜大会の優勝クルーが一歩抜け出し、私達は終 始2位でそのままゴールしました。この時もゴールした時点 では正式な順位は分からず、ただ優勝できなかったという 事実だけははっきりと分かっていたので、茫然とし、そして 悔しくて声を上げて泣きました。桟橋に戻ってきて、そこで 結果を知らせる放送が流れ、準優勝であることを知りました。 「おめでとう」と言って岐阜から熊本まで応援に来てくれた 同じ部の3年生の子が泣いていて、それがうれしくて、悔し 涙と共に、うれし涙も出ました。私たちの〈インターハイ〉は こうして幕を閉じました。

優勝を目指してきただけに、悔しさも多少あります。しかし、 一つの目標に向かって一致団結して汗を流してきた日々とい うのは、何物にも変えがたく、大切な宝物となりました。このような貴重な体験ができたこと、そして加茂高ボート部の一員として活動できたことを感謝し、同時に誇りに思います。私たちが成し遂げられなかった優勝の夢は、後輩に託します。努力は裏切らない、そう信じて今以上に頑張ってほしいです。

最後に、技術面、精神面など様々な場面で私達を支えてくださった先生方、先輩方、試合会場が遠い時もわざわざ応援に来てくださった保護者の方々、そしてなにより三年間共に頑張ってきた仲間、本当にありがとうございました。



## 平成13年度 全国大会出場

#### 剣道部

全国高校総体 女子個人3回戦進出 平成13年8月 熊本県

宮崎春香

〈インターハイ〉は、各都道府県での予選を勝ち抜き、その出場権を得なければ大会に出場できない。剣道競技の団体では男女各1チーム、個人では男女各2名ずつと出場枠が決まっている。そういった厳しい県予選で優勝し、〈インターハイ〉という大きな大会に、「まさか自分が出場できるなんて…。」と思っていたので、試合当日は緊張し過ぎず、無心で戦うことができた。

結果は3回戦敗退。負けた時はやはり悔しかったが、全国のレベルを自分の目で見て、体で感じることができたことは、自分にとって大きな収穫である。そして、〈インターハイ〉の期間は、とても楽しく有意義な毎日だったと思う。

この貴重な体験を経て、今までの練習に対する自分の姿勢等について反省できた。また反省だけでなく、次への大きなステップのための課題も明確になった。

〈熊本インターハイ〉で学んだことを決して忘れず、これからも剣道に励んでいきたいと思っている。



### 平成14年度 全国大会出場

#### 手話部

全国高校生の手話によるスピーチコンテスト 奨励賞

平成14年8月 東京都

小栗皆実

私は、2002年8月24日、東京有楽町で聞かれた〈第19回全国高校生の手話によるスピーチコンテスト〉に出場することができました。手話部に入部した頃から憧れていた全国大会に出場することになり、嬉しさと同時にプレッシャーも感じました。

全国大会に出場するためには、二つの予選を通過しなければなりませんでした。一次審査は作文です。今年のテーマは、「私の生まれた町」「私の宝物」「私が考える福祉」の三つでした。私は「私の宝物」をテーマに選び、2年生の時の学校祭でのことを書くことにしました。「17才のオルゴール」というエッセーに出会い、障害がある著者の生き様に感動したこと、そしてその感動を舞台にと、部員みんなで頑張って成功させたこと、その経験が私の宝物であることを作文にしました。私は作文がとても苦手なのですが、顧問の先生や友達に手伝ってもらい、なんとか書き上げることができました。

無事に一次審査を通過し、次は二次審査です。二次審査は手話技術のビデオ審査です。「高校生と無人駅」という課題文が与えられ、それを手話で表しビデオに収録して提出するのです。ビデオ撮りは緊張して手が震えましたが、手話表現だけでなく、表情や目線にも注意して手話を表しました。

二次審査を通過し、いよいよ全国大会です。大会には全国から15人の高校生が出場しました。私は、「スピーチがちゃんとできるだろうか」「審査員の質問にちゃんと答えられるだろうか」など不安でいっぱいでした。しかし、先生が「だいじようぶ」と言ってくださったので、落ち着いてスピーチすることができました。質問にもしっかり答えることができ、終わった後は満足感でいっぱいになりました。その上奨励賞まで受賞することができ本当によかったです。

大会終了後は出場者や関係者との交流会がありました。そこでは他の高校生たちとボランティア活動の情報交換ができ、大変勉強になりました。また、聴覚障害者の役員の方たちとも話すことができ、とても楽しくて有意義な時間を過ごすことができました。

手話部に入部し、私はこの全国大会出場などいろいろなことを経験することができました。3年間、楽しく手話部の活動ができたのは、顧問の先生や部の友達みんなのおかげだと思っています。この手話部での経験は私にとって大切な宝物になっていると思います。これからもたくさんの本や人に出会い、いろいろな経験をし、この宝物を増やしていきたいと思います。

### 平成14年度 全国大会出場

### 美術部

全国高校総合文化祭美術·工芸展 出品 平成14年8月 神奈川県

星川真喜子

去年の6月、初めてのデザイン画を書き始めました。テーマは自由。何を描けば良いのやら見当もつかず、悩んでいたある日、ある三年の先輩の過去の作品を見せてもらいました。その絵は、本当に手間を惜しまず一筆一筆丁寧に描いてあり、これが高校生の絵なんだと感動するとともに、私もこんな風に描いてみたいと思うようになりました。

そしてそのとき描いた絵が〈岐阜県高校総合文化祭美術・工芸展〉で最優秀賞をとり、全国の〈総合文化祭〉に出品することになったのです。まだ高文連という言葉さえ知らなかった頃で、受賞の話を聞いた時はほとんど実感はありませんでしたが、実際神奈川県で行なわれた総合文化祭へ行き、こんな大きな大会に自分が出品できるなんて光栄だと思いました。また、そこでは多くの人の作品に触れることができ、とてもよい経験になりました。

絵をはじめ芸術はスポーツと違い、誰が見てもすばらしい、 という客観的な評価ができない曖昧さがあると思います。し かし反面、表現には限界がありません。自分の作品も、1 年経った今見ればまだまだ不足があると感じます。前回の作 品よりも次の作品、その作品よりも次の作品…と、これから も限界なく自身の絵を高めていけたらいいと思います。



## 平成14年度 全国大会最優秀賞

#### 放送部

全国高校放送コンクール 最優秀賞 平成14年10月 東京都

伊藤 成美

昨年5月に中国で起きた、瀋陽総領事館亡命者駆け込み事件。この事件をきっかけとして、私たちは杉原千畝というすばらしい外交官が郷里にいたことを知りました。ユダヤ人6000人もの命を救った、正義と良心の外交官、杉原千畝氏。その人物を知ったとき、私の心の中に驚きと「杉原千畝を全国の人たちにも知ってほしい」という気持ちが

湧き上がってきました。

そこで、夏休みに、暑さと雷雨にも負けず、同じチームを組んだ水野由美子さんと一緒に、八百津へインタビューをしに行きました。人にインタビューをするのは初めての体験で、二人とも八百津町役場の前で硬直。気合いを入れ、やっとの思いで役場へ入りました。

そこで私たちは、役場の産業振興課の石井さんにお会いして、杉原さんに関する話をたくさんお聞きしました。次に、まだ緊張がほぐれないまま〈人道の丘〉という場所に建つ杉原記念館へ足を運びました。私達の他にも、たくさんの人が見学に来ていて、有名な方なんだと改めて杉原さんを見直しました。杉原さんについて町の人にインタビューをしましたが、照れられてしまい答えてもらうだけでも、一苦労でした。

その他に総領事館事件に関する情報を集めるために、何社もの新聞を読んで、事件を報じるマスコミの対応ぶりを比較したり、考えたりしました。八百津町でのインタビューと新聞記事をもとに原稿を書く作業を、水野さん、塚原彩子さんと一緒に力を合わせてやりました。3人で知恵を絞って書き始め、その日の作業が一区切りした頃には、夕日が沈みかけていました。

「十枚書ききった。」と思ったのも束の間、細かい直しの 作業が始まりました。先生と一緒に、毎日外が真暗になる まで学校に残り、休みの日にも指導していただきました。

正直言うと、途中で投げ出したくなった時もありました。 そんな気持ちと戦いながらやっとの思いで作品ができあ がった時には、賞のことなどは頭になく、やりきたという 気持ちでいっぱいになりました。

それから二カ月後、突然先生から電話がかかってきました。

「最優秀賞、受賞したよ。」

私は、信じられず、先生に何度も確かめてしまいました。 それから、だんだんうれしさがあふれてきて、思わず叫ん でしまいました。

あの時の驚きと感動は、今でもはっきり覚えています。 高校一年の夏に取り組んだ作品で、こんなにすばらしい賞 をとれたことで、自分の中に自信が生まれ、仲間との絆も より強いものになりました。そして、インタビューを通し、 たくさんの人と出会うことができ、いい経験になりました。 今、心からこう言えます。

「この作品をつくれてよかった。」

## 平成15年度 全国大会出場

#### 弓道部

全国高校総体 女子個人 平成15年8月 長崎県

大 平 美 咲

私は弓道部に入部する時、同じ中学の友達と「みんなで〈インターハイ〉へ行こう」と約束し、競い合い、助け合い、励

まし合いながら3年間頑張ってきました。しかし、部活動の時間は限られていて、自分たちの納得いかない時ときは帰宅後、可児の弓道場で弓を引くことが何度もありました。

1年生の時は選手に選ばれず悔しい思いをしましたが、 2年生の時には先輩方のチームに加わり、団体戦で県2位、 〈東海大会〉3位になり、鹿児島との交流試合にも参加させていただき、全国大会への憧れも一層強くなりました。

3年生になり、〈インターハイ〉のかかった最後の試合。 私は初めて個人として県大会へ出場できました。団体戦とは 違い全てが自分自身にかかっています。プレッシャーが重く のしかかり、不安もありましたが、今までの稽古が自信へと 変わり、仲間が私を信じて応援してくれたので県大会で優勝 し、〈東海大会〉、〈インターハイ〉の出場が決まりました。 そしてみんなが駆け寄ってきて喜んでくれたので、嬉しさで 一杯になりました。

今年の〈インターハイ〉は長崎で行われました。練習会場で他の県の選手を見ていると胸も高鳴ってきました。落ち着いている人、射型がきれいな人、的中が安定している人、私よりも優れている人は大勢見られ、緊張感と期待が入り乱れました。試合会場は体育館の中という、これまでに経験したことのない環境で戸惑いました、予選は四射三中で通過なのですが、試合前日の公開練習では二中で通過本数には一本足りませんでした。

試合当日。練習会場で少し弓を引き、調子を整えました。徐々に私の番号が近づき、召集され、控えに入り、自分を落ち着かせようとしましたが、逆に緊張感が高まってきました。しかしいったん射位に立つと落ち着いて二本目まで丁寧に引くことができ、的中させました。自分の中で「よしっ。予選通過まであと一的。手元にはまだ矢は二本ある。」と思い、気が緩み欲が出てしまったため、予選通過はなりませんでした。目前に迫った予選通過に手が届かなかったことももちろんですが、何より自分に負けたことがとても悔しかったです。〈インターハイ〉に出場してまだまだ未熟だということを痛感しました。これをステップに、私はより上を目指してもっともっと成長していきたいと思います。

三年間の部活動を通して、私はたくさんの素晴らしい仲間と出会うことができました。辛い時も嬉しい時も共に過ごした仲間は、私のかけがえのない宝物です。先生、仲間、家族、多くの人々に支えられて、私は高校最後の夏に最高の思い出ができました。感謝の気持ちでいっぱいです。そしてこれからは、勝利へ向かう後輩たちを温かく見守っていきます。頑張ってください。





## 平成16年度 国際大会出場

### ボート部

アジアジュニア選手権 女子シングルスカル優勝 岐阜県

世界ジュニア選手権 女子クォルドルプル出場 スペイン

若 井 江 利

私に運命の転機が訪れたのは、6月12日のことでした。 今までクルーボートだった私にとって、熊本で行われた選 考会は初めてのシングルスカルでのレース。この大会は全 国のトップレベルの漕手たちが日本一を競う大会です。全 員が敵。しかし、私は緊張している仲間をよそにワクワク していたと思います。予選は意外に落ち着いて漕げたので 一着でゴールすることができました。

次の日は準決勝。ここを勝ち抜いたら、日本代表としてスペインで開催される〈世界ジュニア選手権〉に出場する権利が得られます。夜のミーティングで先生に「このチャンスを絶対に逃がすな」と言われました。そう言われて初めて、いまの自分が置かれている立場に気づき、明日が勝負なのだと思いました。朝目覚めると、ほど良い緊張感と不安が混ざった気持ちでした。しかし、一緒に来ているメンバーがとても明るく振舞ってくれたので、いつもの私でいることができました。

レースは2艇の勝負で、今までにない接戦でした。後から聞いた話では1500メートルの時点では一艇身ほど負けていたそうです。しかし最後まで粘り、気づいた時には1位でゴールしていました。そして私はそのままアジアジュニアのための事前合宿に参加することになりました。

私は今まで大した実績もなく、合宿にも参加していなかったため、ほとんどの人が初めて話す子ばかりですごく戸惑いました。でも、加茂高のみんなが応援のメールをしてくれたり電話をかけてくれたりして、とても元気付けられました。慣れない環境で辛いこともありましたが、4日間の合宿を経て岐阜に戻りました。みんなと"漕ぎ"が合わなかったため、2週間後に岐阜の長良川で行われるアジアジュニア選手権はシングルスカルでの出場となりました。違う学校の子と合宿をしてみて、自分の技術の無さに情けない思いで一杯でした。小山に帰り、合宿で指摘されたことを重点的に練習しました。ダブルスカルで〈インターハイ〉への出場が決まっていましたが、シングルスカルで練習させてもらえたおかげて、自由に課題練習に取り組むことができました。

そして、迎えた2度目のシングルでのレース。舞台はアジア。今回は岐阜県で開催ということでリラックスして臨めたと思います。出場国が6カ国ということで予選がありませんでした。本戦の2日前にトライアルレースが行われ、スタートは出遅れたものの後半で抜かし、1着でゴールしました。あまり緊張はなく、いつもと変わらずに漕げたと思います。その後みんなで神社へ行き、本戦でも勝てるよ

う御参りしてきました。

いよいよ本番。加茂高から私のためにバスを出してみん なが応援に来てくれました。出艇前に希恵が私の所へ会い に来てくれたのがすごく嬉しくて、気持ちも楽になりまし た。スタートで出遅れることは分かっていたので、以後ま で全力で漕ぎきることを目標にスタートに着きました。そ して発艇。韓国の選手がスタートから思いっきり飛び出 して500メートルで差は4秒。予想以上に差が開いたのは ビックリしましたが、横のほうから「若井ファイトー!!」 「江利ファイト!!」という声援が聞こえ、前を向き自分 の"漕ぎ"に集中することができました。500メートル地点 で聞こえた声援が絶えず聞こえてきて、みんなが伴走して くれているのだとわかり、とても勇気付けられました。あ りがとう。1750メートルで何とか追いつき、最後の一人 を抜くことができました。そのままラストスパートに入り、 トライアルレースと同じ一着でゴールしました。思わず ガッツポーズを決めた覚えがあります。

〈アジアジュニア選手権〉が終わりましたが、ホッとする問もなく世界ジュニアへ向けての合宿が始まりました。私は舵なしクォドに入ることができ、嬉しさと不安がありました。熊本での合宿のとき、クルーのメンバーと漕者が合わず、また艇のスピードの妨げになってしまうかもしれないと思ったからです。しかし、コーチの指導のおかげて合宿が終わりに近づくにつれ、クルーにまとまりが出てきたと言ってもらえるようになりました。この感覚を忘れず、〈Aファイナル〉を目指すと決意し、スペインへ出発しました。

試合会場に着き、艇をリギングし、コースを周りました。 初日は外国の艇も少なく、広々していました。とてもきれ いな場所で、鳥がブイにとまっていたり、子供が水遊びを していたり、のどかでした。遠征のメンバーとも仲がよく、 レースへの緊張感も高まってきました。予選は"一杯上が り"だったので、レース感覚を掴むために1000メートルか らは8割の力で漕ぎました。予選の感じから、〈Aファイ ナル〉も手の届くところまで来ていると思いました。今ま で日本の女子のジュニアチームは〈Aファイナル〉へ行っ たことがなく、〈Aファイナル〉へ行くことが目標でした。 そして敗者復活戦。6クルー中4クルーに入れば、〈Aファ イナル〉に出場することができます。私は、ローアウトす る気で、最初から全力で行きました。しかし、私たちがど れだけ全力で漕いでも、外国の艇との差は縮まることはな く、結局6着でゴールしました。リーチや体格の差と言っ てしまえばそこまでですが、〈Aファイナル〉へ行くクルー は倒れるまで漕いでいました。私はどこかで限界を作って しまっていたように思います。これが世界のレベルなのだ と痛感しました。

この2カ月の間に私はとてもたくさんの経験をさせてもらいました。また、ここを転機に新たな自分を発見し、大きく変われたと思います。ボートというスポーツに出会えた私は幸せです。最後になりましたが、いつも近くで支えてくれた先生、ボート部の仲間、保護者の方々、本当にありがとうございました。また頑張ります。

## 平成16年度 全国大会優勝

#### ボート部

全国高校総体 女子ダブルスカル優勝 平成16年8月 広島県

井 戸 希 恵

〈インターハイ〉優勝!それは私達にとって最大の目標であり、この試合に勝つべく日々辛い練習に励んできたと言っても言い過ぎではないと思います。思えば3年生になってから時が経つのがとても早く、あっという間に〈インターハイ〉という大舞台まで来てしまいました。江利が〈世界ジュニア選手権〉出場を決めたことにより、2人で練習することがほとんどできず、広島で半月ぶりに江利と再会し、そのまま試合に臨むという前代未聞のスケジュールに不安でいっぱいでした。

そして迎えた当日。対戦相手は、優勝候補と言われていた日田三隈高校でした。試合前の私たちは練習できていない不安からか弱気で、1位でなくていいから、とにかく予選突破を目指しスタートにつきました。しかし、スタート直後、私たちの艇はぐいぐい進んでいき、2位に8秒差をつけトップでゴールしていました。自分でも信じられなかったけれど、順調な滑り出しに満足感でいっぱいでした。

しかし、それもつかの間、長旅からの極度の疲労で江利が体調不良を起こしてしまい、食事が食べられない状態になってしまいました。苦しんでいる江利に何もしてあげられない自分に腹が立ち泣いたこともありました。それでも江利は、試合前になるとそんなことを忘れさせてくれるような気迫と根性で、私を引っ張っていってくれました。そして準々決勝。「このレースが今後のレースを左右する最も重要なものだ」と先生に言われ、私たちはスタートからとばしていきました。事実上の決勝戦とまで言われた試合をものにし、準決勝へと駒を進めました。

準決勝は、スタートで美方高校に出られたものの、落ち着いて艇を進め中盤、相手の失速と同時に一気に抜いていきました。

そして決勝。私たちは、補欠兼マネージャーとしてついてきてくれた絵美に優勝を誓い出艇しました。あまりの緊張からガチガチになってしまっていた私は練習中にミスをしてしまいました。その時の江利の「大丈夫!落ち着いて。」という言葉に私は自分を取り戻すことができ、クルーとしてまた一つ大きくなれたと感じました。スタート位置につき最後の言葉を交わし、スタートコールを待ちました。そしてスタート。私は今までの全てのものをぶつけ、ただ江利の背中だけを見て無我夢中で漕ぎました。スタートから出た私たちは、完璧なレース展開でゴールへと飛び込みました。夢にまで見た〈インターハイ〉優勝です。うれしくて、大粒の涙がこぼれてきました。陸に上がると絵美も泣いて祝福してくれました。この瞬間本当にボートという競技を続けてきて良かったと思いました。こうして、私たちに最高の思い出を残して〈全国高校総体〉は幕を閉じました。

### 平成17年度 全国大会出場

### ラグビー部

国民体育大会 岐阜県選抜 7位 平成17年8月 岡山県

佐藤賢太

5月、6月にわたって行われた〈高校総体県予選〉も終わり、加茂高ラグビー部を引退して数日経ったある日、岡山国体の県選抜選手に選出されたと顧問の先生に知らされました。GWに行われた〈岐阜県ラグビー祭〉に〈岐阜県選抜〉の一員として出場し、京都の強豪校である伏見工業から1トライをとったこともあり、自分の中ではこの召集はある程度想定範囲内でしたが、大変うれしく思いました。

しかし、受験勉強や体育祭応援団を掛け持ち、さらにラグビーを続けるということが果たしてできるのか、とても不安になりました。周囲は当然参加し、活躍するだろうと期待してくれていましたが、私にはそれがプレッシャーになったのも事実です。でも、一生に一度のチャンスだと思い、本国体に向けて全力を出し切ろうと心に決めました。

初めての合同練習が行われました。他校の生徒ばかりで緊張したのを今でも覚えています。監督やコーチの先生方の挨拶があり、その後ポジションが発表され、私はやったことがないウイングというポジションを任されました。びっくりしたけれど、なんとかなると思って開き直ることにし、その勢いでメンバーとの連携も取ろうと思いました。学校は違ってもそこは同じラガーマン、すぐ仲良くなれました。

その後、数回合同練習を行い、夏休みにはラグビー合宿のメッカ、長野県にある菅平にて5日間の合宿を行いました。数百以上もあるグラウンド、専門店の多さ、合宿を行っているチーム数、初めて訪れる私にとっては驚きの連続でした。滞在した5日間は私にとってとても貴重なものになりました。それは全国の強豪チームと対戦することができたからです。関東の名門東京農大二高、慶應高校、九州の熊本西、そして関西は昨年度花園優勝の啓光学園でした。戦績は計5試合行い、4勝1敗という素晴らしい結果で終えることができ、大満足でした。勝負の厳しさは勿論のことですが、何よりも基礎基本が大事だということを学びました。その土台がしっかりした上で「勝ちたい」という気持ちを加えることが大切だということを再確認させられ、大きく成長することができました。

〈国体東海ブロック予選〉が近づいてきました。東海4県で本国体の切符は1枚、近年は愛知が続けて出場しており、今年度も前評判は高かったのですが、岐阜は「何が何でも岡山国体」をスローガンにし強く団結しました。

予選当日、1回戦の相手は静岡でした。負ける気は正直しませんでした。しかし、この余裕がモチベーションの低さにつながり、勝ったものの反省点だらけでした。そしていよいよ決勝戦、やはり相手は愛知でした。試合前のミーティングで試合展開の確認、そして意思統一を行い臨みました。キックオフの笛が鳴り試合開始。前半があっという間に過ぎ、前半終了間際、リードされ、さらに追加点を奪われそうな場面で、相手パスをインターセプトし逆転のトライを決めました。流れに乗った岐阜は後半一気に突き放し、見事勝利し、国体出場を決めました。



〈岡山国体〉本番を迎えました。東海予選とは比較にならない緊迫した雰囲気。自分の置かれた立場の重大さにそのとき気付きました。岐阜県代表として恥じないプレーをしようと改めて決意しました。

1回戦は新潟との試合。緊張のせいか岐阜は本来の姿とはほど遠く、結果は12対12の同点。2回戦進出は抽選で決められました。運良く当たりくじを引き、2回戦に進むことができました。

2回戦の相手は東京、かなりの強敵でした。ウォーミングアップから気合いが入り、心身ともに良い状態で臨めました。そして、試合開始、先制点を決められ焦りました。力の差は確かにありましたが、自分の持ち味である足を生かし、2トライを挙げることができました。しかし、逆転するには至らず惜しくも敗れました。

そして、その後5・7位決定戦でも岩手の固いディフェンスにノートライに抑えられ敗戦、7位という結果で終了しました。悔いが残らないと言えば嘘になりますが、自分なりに納得がいくプレーができ、とても良い経験をさせてもらったと思っています。

私の高校でのラグビー生活は終わりになりますが、一緒につらい練習を乗り越えてきた加茂高ラグビー部のみんな、岐阜選抜のチームメイト、指導してくださった先生方、陰で支えてくれた家族、全ての人のおかげだと感謝しています。ありがとうございました。

最後に後輩へ。志を高く持ち、内面から鍛えれば絶対に強くなれる。私も社会人チームに入りプロになるのを目標に頑張るから、おまえらも頑張れ。加茂高ラグビー部に栄光あれ。



## 平成17年度 全国大会出場

#### 放送部

平成17年7月 青森県

NHK杯全国高等学校放送コンテスト 準決勝進出 平成17年 東京都 全国高校総合文化祭放送部門 優秀賞

亀 谷 竜 矢

去年の〈NHK杯〉全国大会。全国大会に出られた喜びだけで満足していた自分は、最初の準々決勝で敗退してしまいました。しかし、来年のために勉強していこうという気持ちで聴いた決勝10人のアナウンスに私は衝撃を受け

ました。それは、自分の「ただ読むだけのアナウンス」とは 違い、聴いた後に、「心が暖かくなるようなアナウンス」でした。 「相手に伝える」ものであるアナウンスの本質が現れていた ように思います。自分と全国レベルとの距離を知るとともに、 もっと自分のレベルを上げたいと思い、それからはそれまで 以上に真剣にアナウンスと向き合うようになりました。

決勝10人のアナウンスの良さはとこにあるのか?それは、文章を声に出す「表現力」とともに、全身全霊を注いで作っていくアナウンス原稿の「原稿力」にあるのだと思います。自分が好感を得るものを取材し、その取材を通して素直に感動したことを伝える。そういった、伝えたいと心から思う気持ちが、決勝10人のアナウンスには現れていたように思います。そこで私も、原稿作りに力を入れていきました。

私は今年、〈NHK杯〉と〈全国高校総文祭〉の2つの全 国大会に出場し、2つの原稿を作成しました。1つ目の〈N HK杯〉では加茂高校野球部の取材をしました。加茂高野 球部には他の高校にはない独特な伝統があり、それが強さ の源となり、中濃地区の強豪として名を馳せています。主 将の後藤君、顧問の内海先生に忙しい中、取材に付き合っ ていただき、加茂高野球部の魅力を伝えられる原稿を作 ることができました。また、2つ目の〈全国高校総文祭〉 の原稿では、可児市にあるヤイリギターを取材しました。 ヤイリギターは職人技による手作りをモットーにギターを 作っている会社です。実際に社長さんと職人さんから話を 聞いて、ギター作りに懸ける情熱を感じ取ることができま した。特に社長さんの口から出た「私はたわけの一つ覚え でギターを作ってきた。ギター作りなら私は世界チャンピ オンだよ。」という自信満々の言葉が私の心の中に強く残 り、ヤイリギターのことを全国の人に伝えたいという気持 ちが湧いてきました。いままで、いくつものアナウンス原 稿を書いてきましたが、心から感動し、自発的に「伝えたい」 と思えたのは初めてでした。

《NHK杯》、〈高校総文祭〉とも全国で入賞できそうな原稿が出来上がり、次に、読む練習に入りました。大会に出場するにあたって、出場者は何十回、何百回と同じ原稿を読んで練習することになります。その中で、伝える側が文章に飽きず、常に初めて聴いたかのような新鮮さを持って練習することが大切です。前述の決勝10人の表現力の素晴らしさはその新鮮さを忘れないことにあると思います。私も大会の直前期は朝4時起きで練習するなど、嫌気がさすほど原稿を読みましたが、常に新鮮さを忘れず、客観的に自分のアナウンスをチェックするように努めました。その効果があったのか、普段はまったく褒めない顧問の奥田先生から「もしかしたら入賞できるかもしれないね」と言われ、自信を持って大会に臨むことができました。

そして迎えた全国大会。初めは東京で開かれた〈NHK杯〉です。去年は東京の高層ビル群に圧倒され、大会に臨む前から気合い負けしていましたが、2年目の今年は余裕を持って、最初の準々決勝を迎えられました。「絶対に準決勝、決勝に行くぞ。」そう心の中で思いながら原稿を読みました。その思いが通じたのか、翌日の結果発表で準決勝

進出を聞きました。去年準々決勝で敗退した私にとって、準 決勝は未知の領域です。自分の原稿とともに準決勝課題が 課されるので、出場者の「本当の表現力」が試されることに なります。そして本番。準々決勝よりも広い会場で行われて いる上、壇上に上がるのが強豪ばかりだと考えると、とたん に緊張してきました。しかし、「絶対に決勝に行くぞ」という 気持ちで緊張を打ち消しながら読み始めました。

「49番、亀谷竜矢」自分で作った原稿はなんとかスムーズに読むことができました。しかし、課題原稿に入った途端に緊張が再燃し、ミスはありませんでしたが、伝わる読みができませんでした。そのため、夢だった決勝進出は成りませんでした。しかし、頭をすぐに切り替え、もう一つの全国大会である〈高校総文祭〉に備えました。

〈全国高校総文祭〉は青森県の三沢市で開かれました。これが自分の放送部としての最後の大会だったので気を引き締めて臨みました。そして、本番では取材したヤイリギターの魅力を存分に伝えることができ、自分の持てる力を出し切ることができました。翌日の結果発表。司会の人によって優秀賞(最高の賞)の10人が読み上げられていきました。「19番、亀谷竜矢さん」私は自分の耳を疑いました。ついに目標にしていた全国大会での入賞を果たしたのです。自分の今までの苦労がこの瞬間に報われました。

アナウンサーになりたいという夢を持って入った放送部。 〈NHK杯〉、〈全国高校総文祭〉での入賞を目指して頑張ってきた3年間の努力は自分にとっての財産となり、自信になりました。これからも自分の夢に向かって努力を続けていきたいと思います。

最後に、顧問の奥田先生にお礼を言いたいと思います。 私の夢について真剣に考えていただき、夢の実現に近づけ ていただきました。もし、奥田先生との出会いがなければ、 アナウンサーになるという漠然とした夢を今頃あきらめてい たと思います。奥田先生、本当にありがとうございました。



## 平成19年度 全国大会優勝

### ボート部

全国高校総体 女子クォルドルプル優勝 平成19年8月 佐賀県

岡 田 奈央美

私たちは去年の夏に佐賀県で行われた〈インターハイ〉に、男女クォルドルプルで出場しました。私にとって、これが高校生活最後の試合であり、今までずっと目標にしてきた舞台なので、「出場するからには絶対勝ちたい」という思いが強くありました。

春頃からこのメンバーでクルーを組み、"漕ぎ"がうまくいかず悩んだり、クルー内でもめたこともありましたが、一つ一つ乗り越えていき、お互いに絆を深めていきました。そして富山県で行われたインハイ直前合宿では、静かな環境の中で楽しんで練習することができ、すっきりとした気持ちで佐賀県へ出発しました。

三日間の配艇練習があり、艇と水の感触もよく、"漕ぎ"に対する不安を薄れさせることができました。

予選当日の天気はとてもよかったのですが、午後からの組み合わせだったので、逆風での試合でした。リギングが終わり、出艇前のミーティングで、「予選なので楽しんで漕ごう」と誓い合いました。気持ちはとても落ち着いていたので、このままいけば大丈夫だと思っていたのに、いざスタートしてみると緊張で"漕ぎ"が固くなっていました。このままではヤバイと焦った時、風でオールをとられた勢いで艇に手をぶつけ、その痛みで冷静に戻ることができ、2位に大差をつけて1着でゴールしました。皆でいいレースができたと喜んでいた時に、次の準々決勝の組み合わせを聞いて絶望しました。決勝でしか戦わないと思っていた因縁の猿投農林高校と当たっていたからです。ずっと勝つことができなかったため、悪い方向にしか考えられず、弱気になっていました。その時、古田先生がかけてくださった言葉が力強い支えとなり、やってやろうという気持ちになりました。

次の日は敗復が行われるため、レースのない私たちにとっては一日空いてしまうので、大分県の日田高校の練習場で漕がせてもらいました。短い練習時間でしたが、確実に調子が上がってきていると実感しました。この一日が私たちにとってとても大きかったと思います。

そして準々決勝当日、2艇上がりということもあり、心に余裕をもって試合にのぞむことができました。レース展開は途中まで負けていましたが、それでも勝てると信じ、一本づつ正確に漕ぎました。そしてレース後半、だんだん視界に猿投の艇が見え、行ける!と思い彩乃のかけ声合図にがむしゃらに漕ぎました。ゴール直前、コンマ差で勝つことができました。本当に嬉しくて、そして何よりも自信につながりました。

ついに最終日。この日は準決勝と決勝の二試合があり、とても気合いの入った一日でした。早朝からエルゴを漕ぎ、試合へのテンションを高めていきました。試合会場に着いてみると、川のコンディションは最悪で、ミスをするクルーが多く、中には転覆してしまうシングルまでありました。そんな中で迎えた準決勝はまた猿投と当たっていました。それでも、昨日勝てたことに対しての自信から、荒波の中でも落ち着い



て漕ぐことができました。他のクルーがミスをしてスピードを落としていく中、私たちのクルーは一本もミスをすることなく、10秒近く差をつけてゴールしました。猿投との因縁に決着をつけることができました。

そしてついに決勝戦。出艇前に円陣を組み、気合いを入れ直しました。「絶対勝てる。楽しんで漕いでこよう。」浅橋では皆が私たちを送り出してくれました。「笑顔で戻ってくるから。」と約束し、レースに向かいました。

今までの試合の中で一番声を出し合い、気がつくと全艇が自分たちより後ろを走っていました。そしてそのままゴール。試合中の記憶があまりなく、その時はあまり実感がなかったのですが、表彰式を行って初めて、私たちは本当に優勝したのだと確信しました。ずっと目標だったものをつかめたことは、本当に嬉しかったです。

この夏は私にとって、一生忘れられない思い出となりました。そして本当にたくさんの人たちに支えられて、ここまでくることができました。大会期間中、ずっと私たちをサポートしてくれたのぞみとみき。リギングでは本当にお世話になり、また熱心にご指導してくださった古田先生。今まで一緒に戦ってきた男子の皆。遠い所まで応援にかけつけてくれた保護者の方々。岐阜からずっと応援してくれた部の皆。ボートがなければこんな体験をすることはできなかったし、この仲間とも出逢えていなかったと思います。私は加茂高ボート部、そしてこの仲間と共にボートを漕げたことを誇りに思っています。

最後に…。

この夏、佐賀県に加茂色の風が吹きました。



## 平成19年度 全国大会優勝

ボート部

国民体育大会 岐阜選抜 女子クォルドルプル優勝 平成19年10月 秋田県

篠田成美

6月下旬、県内で国体のためのシングルレースが行われ、加茂、恵那、八百津の3校で〈岐阜選抜(チーム古田)〉が生まれました。これまで、他校とクルーを組むことがなかったので、新鮮で楽しみでした。各校のスケジュールや、恵那から加茂まで通うのは大変でなかなか集まっ

て練習することができませんでした。

7月下旬に三重県で東海ブロックが行われましたが、この試合で2位以内に入らなければ国体へ行けません。練習量が少なかったので不安もありながらの試合でした。〈チーム古田〉での初めての試合はコッスクのかけ声にとても気合いが入っており、漕いでいて励まされ気持ちよく漕ぎ切れました。そして国体本戦に繋げることができました。

9月は本当に忙しく、加茂高祭、期末テストと大変でした。 週末は集合して短い練習の中、より効果を出すために集中 し、毎回力を出し切るよう頑張ってきました。

いよいよ国体開催地である秋田県大潟村にやって来ました。ここの川は普段練習をしている飛騨川と違い茶色く濁っていて漕いでみると水がとても重く感じて、艇速が全く上がりませんでした。配艇練習が3日間あり、2日目ぐらいから少しずつ調子が上がってきたように思えました。私達〈チーム古田〉の目標はただひとつ。「日本一になる」ことです。〈インターハイ〉で岐阜は、2つ優勝しました。女子クォルドルプルで加茂が、女子ダブルスカルで恵那が。その中の3人は〈チーム古田〉に乗っています。そして漕手4人ともエルゴを回す力があり全国でもそのメンバーをそろえられる県はあと2つぐらいしかいません。その様な実績からか「日本一になれる自信もあったし、必ずならなければいけない」と思っていました。

予選の日がやってきました。2位までに入れば準決勝に進め、絶対に1位で上がってこれると思ってました。しかし国体はそんな甘い考えが通じるものではなかったのです。全くレートも上がらなかったし、声かけがいつもより少なく楽しいレースをすることができませんでした。そして1位は全くライバル視していなかった福島選抜に奪われました。

本当にショックでこれまでにない最低な試合でした。ですが、このレースをしたことによって私達は目を覚ますことができたのです。その日の夜のミーティングで先生に「一番下まで落ちたんやからこれ以上落ちることはない」「周りからの注目もこれで無くなったからプレッシャーを捨てて次は挑戦者としていくだけや」「緊張していることやすべてのことを楽しんでこう」と言われました。私達は日本一になることしか見ていなくて、楽しむことを忘れていたんだと気づきました。準決勝の組み合わせは他の組より断然よく神様は私達の味方をしてくれていると思いました。

準決勝の日。思いきってオールの長さを短くしました。 リギングをしたことによって水も軽く感じるようになり。 やっと「漕げた!」という感触をつかむことができました。 無事1位でゴールすることができ、ほっとしました。明日 は決勝なのですべてやってきたことをぶつけるだけです。 決勝にもなると強豪しかいません。加茂の一番のライバル 愛知県猿投農林高校もいます。

ついに来ました、決勝の日。この日は雨が降っており 秋田県の気温は10月でも低く、テントで体を動かし温め ました。アップをしてスタート地点に着きました。斜め 風が吹いていたため、スタートコールをしている内に船 が流されてしまい、何度もスタートをやり直されました。 ここで集中を切らさないように私は声を掛けていきまし た。スタートは横一線でしたが、スタートスパートで遅 れをとりました。そこで焦らずに一本一本伸ばしていき、 猿投農林高校を抜きました。500mでスパートを入れて 私達はどんどんスピードに乗っていきました。ここでやっ と愛媛選抜を抜きました。あとは秋田選抜を抜けば日本 一です。さすが地元だけあって予選、準決勝とすべてトッ プタイムを出してきていました。ですが地元クルーに負 けるわけにはいきません。ラスト250mにさしかかり、 コックスのラストスパートの声で上げました。そこで秋 田選抜が視界に入り燃えました。本当にラストはえらく て苦しかったですが諦めず漕ぎ続けました。ゴールをし てみるとどちらが勝ったか分からず早く結果が知りたい という気持ちもあり、また、知る不安もありました。そ して出た結果は0.26秒差で勝っていました。みんな涙々 で喜び合いました。このレースはボートをやってきた中 で一番楽しいものでした。

この様な結果を出せたのも部のみんなの支え、保護者の方の熱い応援、そして古田先生の的確な指導のおかげでした。また今回は民宿ということで長田さん家に泊まらさせていただき大変よくしてもらいました。私はボートと出会って全国に友達の「輪」も広がりました。本当にたくさんの人に出会い、学ぶことも多くいい経験をできました。大学でもボートを続けるのでこの結果に満足することなく更に上を目指して頑張っていきます。

目標は日本一、その中ですべての人・すべての物に感謝し、楽しむこと。すべての体験を通し気づくことができました。そして、この体験を人生に生かしていくことで、さらに意味のある活動になると思います。次はオリンピック。これが〈チーム古田〉の目指すものです。

## 平成21年度 全国大会出場

### 美術部

全国高校総合文化祭美術・工芸展 平成21年7月 三重県

肥田滉平

〈全国高等学校総合文化祭〉美術・工芸展に出品した作品を制作を開始したのは、高校2年生の6月でした。私はその時、「良い絵を描きたい。」「〈岐阜県高校総文祭〉に出品したい。」と強く思っていたことを、今でもしっかりと憶えています。その気持ちが芽生えたのは、高校1年生の〈岐阜県高校総文祭〉美術・工芸展でした。そこで、展示されていた加茂高の先輩方の作品がとても素晴らしく、私はその作品に少しでも近づきたいと思ったからです。

しかし、制作の方は決して楽ではありませんでした。1カ 月半しかない制作期間の中で7月には中間テストもあり、部 活と学習の両立の難しさを実感しました。また、作品が完成 したのは、搬入当日の朝でした。これらの経験は自分にとっ て、今後の作品制作において大変自信になりました。

作品は〈岐阜県高校総文祭〉美術・工芸展で優秀賞をいただき、その後、〈全国高校総文祭〉美術・工芸展に参加が決定しましたが、どこか作品が一人歩きしているような感じがして実感が湧きませんでした。また、〈全国総文祭〉の出品する作品が、自分の作品で本当に良いのか戸惑いもありました。しかし、時間が経つにつれて徐々に喜びとして感じられるようになりました。

3年生の夏、〈全国総文祭〉の会場となった三重県立美術館で、全国から選ばれた約400点の作品を鑑賞しました。 展示されているどの作品も、個性的であり、また発想が豊かで、非常に質の高いものでした。私はこの作品鑑賞を通じて、今まで体験したことのない強い衝撃を受けました。それは、良い経験となり、現在の作品制作の原動力となっています。

美術室という小さな一室で描かれた作品が何万人という 人に鑑賞してもらえたことは、とても大きな意味があると思います。

私は、将来イラストレーターになりたいと考えています。 マスメディア等を通じて何千万という人々に見ていただける ような作品を描いていきたいと思います。



## 平成22年度 全国大会出場

### 美術部

全国高校総合文化祭美術・工芸展 平成22年7月 宮崎県

木 村 恵 理

私は今回の〈全国高校総文祭〉で大きく二つのことを学びとることができました。

一つ目は、高校生によるすばらしい運営力です。私たちは「ゆとり世代」とよく言われ、様々な不安を抱えてい



ます。けれども今回の大会において、自分たちの実行力を大変強く感じました。開会式や閉会式、ワークショップ、 美術工芸展の運営・企画等、様々なことが高校生の力で 行われていました。もちろん大人の方の援助があってこ そのものだということは承知の上ですが、自分たち高校 生のパワーにあらためて気付くことができたと思います。

二つ目は、他人との違いを楽しむことです。私は美術部として出席したわけですが、美術作品はその人の感覚、考え、気持ちを反映するもので、他の人の感性と自分とを比べることで、自分自身を見つめるきっかけともなり、自身の向上の糧ともなったと思っています。

### 板津伶奈

今回、宮崎県立美術館に展示された全国から選ばれた 394点の作品は、どの作品も個性的であり、また発想が 豊かで、とても感動しました。その素晴らしい作品の中に、 私の作品が展示されたのは大変光栄に思いました。 講演・講評会では、講師の大泉佳広先生から、作品制作の心構えや技術的なアドバイスをたくさんいただき、大変参考になり今後の作品制作に生かして行きたいと考えています。 交流会では、「ピッカンコ Fun! Fan!」というテーマで、都道府県をPRするような「ご当地うちわ」の制作をしました。 完成後、全てのうちわが一つにまとめられそれが一つの大きなアートになりました。とても感動しました。 今までにない貴重な体験ができて、本当に良かったと思います。

この〈全国総文祭〉に出場できたことは、私1人の力だけでなく、先生や友達、家族の支えがあったおかげです。 ありがとうございました。

## 平成24年度 全国大会準優勝

### ボート部

全国高校総体 男子クォルドプル準優勝 平成24年 北信越かがやき総体

杉 山 諒

私たちは去年の夏に北信越で開催された、〈北信越かがやき総体〉に出場しました。

この大会に出場するには、岐阜県の県予選で優勝しなければなりません。しかし、岐阜県のボート競技のレベルはとても高く、県で優勝することがとても難しいことです。私たちはまず、〈インターハイ〉の切符を確実に手に入れるために練習に励みました。

そして、〈インターハイ〉の出場をかけた県予選が始まりました。ここで一つでもミスをして、負けてしまえばそこで終わりです。全国大会に行くことはできません。 私はとても緊張をしていました。

レースが始まると序盤は緊張がとれず、なかなか自分たち

の"漕ぎ"をすることができませんでした。しかし、コックスの声を聞くと落ち着き、緊張がとれました。結果は県予選優勝で〈インターハイ〉出場が決まりました。

しかし、部員の中にも〈インターハイ〉に行くことができない人もいます。同じ加茂高の仲間は今まで一緒につらい練習を乗り越えてきて、ここからは一緒に戦えなくなると思うと、つらかったです。私はみんなの気持ちを大切にして〈インターハイ〉を頑張ろうと決意しました。

出発までの間に、川辺で合宿を行いました。そこには、ボートに集中できる環境があり、全員の気持ちが〈インターハイ〉に向けて高まりました。私たちだけではなく、みんなのためにも絶対優勝しようという気持ちが高まりました。そして、最高のコンディションで〈インターハイ〉へ出発することができました。

会場に到着してから3日間は、配艇練習にあてられました。限られたスペースと時間の中でスムーズにリギングするのは難しく、慣れるまで大変でしたが、配艇練習最終日には万全の状態ができあがりました。

〈インターハイ〉の予選のレースは「全力で最後までいこう」と挑みました。スタートから慌てることなく、後半で グッと相手を突き放してゴールすることができました。

次の日は、敗者復活戦で試合がないので、練習の合間の時間を利用し、新潟観光に行きました。自然に囲まれた美しい街並みの中で、岐阜県とは違ういろいろな文化を体験することができました。

次の日は準々決勝でした。このレースも自分たちのレースができて、次の準決勝につなげることができました。

そして準決勝になり、ここで1位でなければ決勝へ進むことはできません。このレースが一番緊張します。レースが始まると、スタートからリードすることができて、その勢いのまま1位でゴールすることができました。とても嬉しかったです。

そのレースが終わりゴールした時に、対戦した相手チームの人たちが、「決勝、頑張ってください!」と、声をかけてくれました。その言葉に感動して「絶対負けられない」と思いました。

決勝になり、今までの練習の成果を出し、悔いのないレースをしようと誓いました。コンディションは逆風と高波でとても漕ぎづらくて何度もミスをしました。スタートでミスをして少し出遅れてしまいました。しかし、みんなで声を掛け合い落ち着いて、だんだん追い上げていきました。しかし、間に合わず2位で〈インターハイ〉のレースを終えました。ただ、悔いはありません。なぜなら、最後まで私たちの力を出すことができたからです。

これが私にとって高校最後の大会となりました。今まで、 全国大会なんて縁の無いことだと思っていた私がここまで 来られたのは、たくさんの人びとの支えのおかげです。遠 くまで応援に駆けつけてくださった保護者の方々、仲間と して、ライバルとして高め合ったボート部のみんな、サポートを続けてくれたマネージャー、私たちを導いてくださった先生方。そして、新潟の方々。みんなに感謝の気持ちでいっぱいです。

高校でこのような経験ができて本当に良かったし、今後 に役立てていきたいと思います。本当に加茂高ボート部で 良かったです。ありがとうございました。



## 平成24年度 全国大会準優勝

#### ボート部

全国高校総体 女子クォルドプル準優勝 平成24年 北信越かがやき総体

渡 邉 楓

私は〈インターハイ〉の舞台に舵手付きクォドルプルで 二度立たせてもらいました。

1度目は岩手県で行われた〈北東北総体〉です。ボートは競技人口が少ないため、〈インターハイ〉への距離は他の部と比べて近いかも知れませんが、それでも全国への道のりは険しいものでした。その中で2年生ながらも出場できたことがとても嬉しかったです。

結果は準々決勝へ進出し、そこで敗退というものでした。2年生2人と3年生3人で挑んだこの大会。皆が初めて経験することばかりで不安でいっぱいでした。それでも最後の最後まであきらめず声をかけ合って漕ぎきることができました。レース後に古田先生から、「今までで一番良いレースだった。」と、言われたことが今でも強く心に残っています。この〈インターハイ〉を経験して改めて「全国」というレベルの高さに気付き、今まで以上に全国大会で優勝したいという思いが強くなりました。練習に対する態度もより考えるようになりました。

そして、3年生部長として迎えた〈インターハイ〉。県予選の時から2年生の頃には感じなかったプレッシャーや緊張を感じました。それと同時に頼もしい後輩の存在も感じ、このクルーなら行けるという確信を持っていました。

私にとって、2度目の〈インターハイ〉は新潟県で行われた〈北信越かがやき総体〉。「男女アベック優勝」を目標に掲げ、臨んだ大会でした。

2日間の配艇練習。クルー全体の意識が一つになっていくのを感じました。そして迎えた予選。緊張のせいかスタートでうまくスピードに乗れず予想通りのレース展開ができなくて、ノーマークだった高校に敗れて予選2位通過でした。ここで改めて全国大会の厳しさを知ることとなりました。この負けがあったから次の準々決勝に気を引き締めて臨むことができたと思います。

迎えた準々決勝では、練習からスタートを意識して取り 組み、落ち着いた状態でレースを展開できました。おかげ で1位通過することができました。前年、準々決勝で敗れ てしまった私にとっては、ここから先のレースは未知の領 域でした。

決勝へ進むには1位通過しなければならないというプレッシャーと、男子や他の残っている岐阜県勢みんなで決勝に行きたいという気持ちが入り混じった複雑な心境でした。そんな私の気持ちを落ち着かせてくれたのは、勝利を信じて疑わない後輩たちの姿でした。あとは無我夢中で力の限り漕ぐだけだと思うことができ、準決勝1位通過し、ついに全国大会決勝の舞台に立つことができました。

決勝は準決勝のレースの5時間後に行われました。今でも強く心に残っているのは、古田先生が、「最高の舞台で最高の仲間と共に戦える幸せを感じながら、レースを楽しめ。」と、おっしゃった言葉です。円陣を組み、声をかけ最後に交わした先生との握手で本当にクルーが一つになれた気がしました。もう迷いはありませんでした。

最大のライバルは昨年の覇者である熊本学園大学付属高等 学校でした。とにかく決勝は今まで積み上げてきたことを全 てぶつけ、悔いが残らないレースにしようと思いました。

レースの内容は正直あまり覚えていません。一本一本全力で漕いで、全力で声を出すことだけに集中していたら、いつの間にかレースが終わっていました。そして終わった瞬間、隣のレーンで熊学のクルーが声を上げて喜んでいるのを見て、「ああ、負けたんだ。」と、そこで初めて気づき、悔しくてみんなで泣きました。優勝に手が届きそうだったからこそ悔しさでいっぱいでした。

レースが終わったら、支えてくれた方々に「お疲れ様。」 と言われたり、先生にも「胸を張ればいい」と言われたりし て笑って表彰式に臨むことができました。

結果は男女とも準優勝でした。目標として掲げていた全国大会優勝は叶わなかったけれど、ボート部に入らなければこのような最高の舞台で戦うことは無かったと思うので、本当に入部して良かったと思うし私の人生が大きく変わったと感じています。今は関わって下さったすべての人に感謝しています。本当にありがとうございました。



## 平成25年度 全国大会出場

#### ボート部

全国高校総体 男子クォルドプル3位 平成25年 北部九州総体

小山内 悠 也

私たちの目標は、〈インターハイ〉に出場することでした。〈インターハイ〉に出場するためには、岐阜県の予選大会で優勝しなければなりません。しかし、私たちは新人戦で恵那高校に大差をつけられ負けてしまいました。

〈インターハイ〉に出場する、という目標を達成するためには、どうしても恵那高校に勝たなければなりません。新人戦では前半では私たちがリードしていたのですが、ラストスパートで抜かれてしまいました。そのため、練習時も油断をしないでお互いに声をかけ合うことを意識し、あの時の悔しさをバネにして日々の練習に励みました。

〈インターハイ〉予選では、今までで一番いい"漕ぎ"が でき、かつて負けた恵那高校に勝って優勝することがで きました。これで念願だった〈インターハイ〉出場の夢を 果たすことができました。私にとって〈インターハイ〉は 初めて経験した全国大会でした。〈インターハイ〉のよう な全国大会では、各高校で用意した艇だと重さ等で差が 出てしまうので、ハンデ差をなくすために開催地で準備 した艇を使います。そのため、毎日艇の調整をしなけれ ばなりません。試合が始まるまでの3日間は練習日とし て、練習時間も決められています。その中で艇の調整と 水上での練習をしなければなりません。練習初日は緊張 や焦りから、艇の調整に時間をかけ過ぎてしまい、水上 練習の時間が短くなってしまい、納得のいく練習ができ ませんでした。2日目は前日よりも慣れ、艇の調整に時 間をかけることなく、十分な時間をとることができ、有 意義な練習ができました。

そしていよいよ〈インターハイ〉本番を迎えました。〈インターハイ〉の会場は風が強く、波が高くて自分たちの"漕ぎ"ができませんでしたが、なんとかグループ内2位という結果を出し、準々決勝に進みました。

準々決勝では、前半はリードしていましたが、後半で 焦ってミスをしてしまい、予選と同じ相手に負け、また グループ2位という結果で準決勝に進みました。決勝に 進むためには準決勝を1位で通過しなければならないた め、今までのような2位になってしまうようなミスは許 されません。決勝に進むためにもこれまでの敗因をクルー で話し合って改善し、気持ちを引き締めて行こうと決め ました。そして準決勝では、そんな強い気持ちからか、 見事1位という結果を残すことができました。準決勝が 終わった後、対戦したチームから、

「僕たちの分まで頑張ってください。」と声をかけられ、 今まで戦ったチームの分まで頑張ろうと思いました。決 勝で戦う相手は、全国に名をとどろかせるチームばかり です。しかし、ここまで来たからには、どんなに強い相 手であっても全力を出しきるだけです。クルー全員で気持ちをひとつにし、決勝に臨みました。

結果は3位と優勝することはできませんでしたが、〈インターハイ〉で全力を出し、3位という結果を残すせたことはとてもよかったです。何より、〈インターハイ〉を通して様々な人と出会い、いろいろなことを学び、私自身が大きく成長できたような気がする経験ができたことがよかったです。この経験も周りの方々の支えがあったからこそできたことです。この感謝の気持ちを忘れずに、これからも頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。

## 平成25年度 全国大会優勝

#### ボート部

全国高校総体 女子クォルドプル優勝 平成25年 北部九州総体

藤井香菜

私たちは2度〈インターハイ〉という舞台に立つことができました。1度目は新潟で行われた〈北信越かがやき総体〉です。

〈北信越かがやき総体〉では、私たちは女子舵手付きクォドルプルで出場しました。3年生の先輩1人、2年生4人という2年生主体のクルーでした。目標はもちろん優勝でした。しかし、決勝まで進んだものの、熊本学園大学付属高校に敗れ、2位という結果で終わりました。レースが終わった後、私たちは本当に悔しくて泣いてしまいましたが、全国大会という大舞台でこれだけの結果が出せたことは、私たちにとって大きな自信となりました。

その後、〈インターハイ〉優勝を目指して、冬には厳しいトレーニングを積みました。〈全国高校選抜大会〉での優勝を経て、〈インターハイ〉出場を懸けて戦う〈インターハイ〉予選を迎えました。3年生となった私たち4人に加え、2年生の後輩1人というメンバーで挑むことになりました。この大会で1位にならないと〈インターハイ〉には出場できません。そんなプレッシャーもありましたが、ライバルであった恵那高校を破り、〈インターハイ〉の切符を手に入れることができました。

直前合宿で〈インターハイ〉優勝という目標を達成しようと自分たちを追い込み、いよいよ本番の2度目の〈インターハイ〉を迎えました。今までの全国大会でレースを経験したからか、緊張しすぎることもなくリラックスして、そしてついに今までやってきたことを全て出し切る時が来た、という意気込みを持って臨みました。会場の遠賀川は漕いでいると全身が濡れてしまうくらい波が高く、レース中にミスをしてしまわないか不安でした。しかし、2年生の秋の新人戦からずっとクルーを組んできた、頼もしい仲間たちを信頼して漕ごうと決めていたため、そんな不安もすぐに無くなりました。2日間の配艇練習では、今までの経験を生かして特に問題もなくスムーズに練習することができました。

いよいよ予選の日を迎えました。去年はノーマークだった高校に敗れ2位通過だったこともあり、最初から全力で

レースに臨もうと決めていました。コンスタントにリズム 良く、じわじわと他のクルーを引き離していくというレー ス展開ができ、予選は1位で通過することができました。

翌日は敗者復活戦だったため、私たちは近くの高校のボート部の練習場を使わせていただいて練習しました。波の高い遠賀川での水の感触をつかむことができ、決勝に向けてとてもいい練習ができました。その翌日の準々決勝では1位で通過することができましたが、準決勝は1位にならないと決勝に進むことができないため、喜ぶだけではなく気を引き締めようと仲間と誓いました。そして、準決勝も1位で通過することができました。

そして、いよいよ決勝の日を迎えました。水上に出る 前、古田先生はミーティングで、「最後のレース、おもい きり楽しんでこい。」と言ってくださいました。私たちは その言葉を胸に刻みながらも、このクルーと臨む最後の レースになるという気持ちから、私も他の仲間も涙を浮 かべていました。そして、みんなで円陣を組んで気合い を入れ、古田先生と握手を交わして水上に出ました。レー ス直前はいつも通りみんなで声をかけ合い、落ちついた 気持ちでスタートすることができました。スタート直後か らトップに立ち、他クルーとの差を広げようと全力で漕ぎ ました。コックスの声に漕いでいるみんなは大声で応え、 クルー一丸となってゴールを目指しました。ラストスパー トをかけるときも、みんなでもっと速くという思いで必死 に漕ぎました。トップでゴールしたことが分かった時、み んなで声を上げ、両手を突き上げて喜びました。去年の ような悔し泣きではなく、嬉し泣きをすることができまし た。桟橋に戻ってから、みんなで抱き合って喜びました。 表彰式では「自分たちは本当に日本一のクルーになったん だ」と実感が湧き、本当にいいレースだったと思っていま

今振り返ると、こうして私たちが優勝できたのは様々な 人たちの支えがあったからだと思います。今まで練習で競 い合って高め合うことができたのは先輩方、後輩、そして 同じクルーの仲間がいたからです。また、ボートを続けら れたのは顧問の古田先生を始め、応援してくださった先生 方、家族のおかげです。私は、こうして私たちを支えてく ださった方々に、いくら感謝してもしきれないくらいの気 持ちでいっぱいです。また、私はボート部に入部して本当 に多くのことを学びました。その中でも特に大きな目標を 持つ、ということの大切さを学びました。私たちは入部当 初から全国優勝を目標に掲げて活動し、見事実現させる ことができました。目標を達成することの大切さ、目標を 達成するための努力、目標を達成した時の達成感は、将 来社会人となる私にとって貴重な経験として生かしてい きたいです。また様々な大会で様々な場所へ行くことがで き、多くの人々と知り合うことができました。こうして加 茂高校の中だけでは見ること、感じることのできない世界 をみることができ、私自身の視野が広がった気がします。

こうして私の高校生活は、最高の仲間に出会い、最高の 先生に出会い、最高の経験をさせていただけて、一生忘れ ることのできないものとなりました。この経験を生かし、そし て、周りで支えてくださっている方々への感謝の気持ちを忘 れず、これからの大学生活を充実したものにしていきたいと 思います。大学でもボートを続けるので、大学でも日本一を 目標に頑張りたいです。ありがとうございました。



## 平成26年度 国際大会出場

### ボート部

世界ジュニア選手権 女子クォルドプル出場 平成26年 ドイツ・ハンブルグ

棚橋秀美

私は、8月にドイツのハンブルグで行われた、〈世界ジュニアボート選手権大会〉に出場しました。

私は、この大会に1年生のころから出場したいと思っていました。そして2年生になると、来年は絶対に出場したいと本格的に目指すようになりました。世界大会に出るには、国内で行われる選考会を兼ねた大会で上位にランクインしないと出場できません。1つ上の先輩も昨年の選考会で選ばれることを目指していましたが、惜しくも逃してしまい、悔し涙を流していらっしゃいました。私はそんな先輩を見て、来年こそは私が絶対に出場してやる、と強い決意を持ちました。

世界大会に出場するためには、普段あまり乗らない1人漕ぎのシングルスカルのレベルを、選考会までに上げなければなりません。毎日シングルスカルの練習をし、いよいよ選考会となりました。周りは強い選手ばかりでしたが、なんとか5位に入賞し、代表入りすることができました。1年生の頃から憧れていた舞台に立つことができると決まった時は、本当に嬉しかったです。それと同時に、U19の日本代表になるんだという自覚からか、さらに気が引き締まりました。

ドイツでの大会の前には、国内で3回にわたる合宿がありました。私は舵取りのいない、舵手なしクォドルプルという種目で出場することになりました。合宿では普段の部活動で行う以上のハードな練習を毎日炎天下の下で行っていたため、とても辛かったです。しかし、「世界は甘くないぞ。」とコーチの先生方に言われてきたため、もっと強くならなければ、という気持ちを持って代表メンバーたちと毎日練習に取り組んできました。



長いようで短かった合宿を終え、いよいよドイツへと 向かいました。現地に到着して、各国の選手たちと対面 した時、最初に思ったことは体の大きさの違いです。コー カソイドの彼らたちは、身長が高く、手足も長くて、筋 肉も大きかったのです。やはり、海外の選手は大きいん だなと改めて思いました。

ドイツに着いてから5日ほど経ち、いよいよ大会が始まりました。しかし、ここから世界の厳しさを知ることになったのです。2000メートルのレースで予選ではオランダやロシア、ニュージーランドやベラルーシといった国と競うことになりました。私たちは、今まで世界大会でも上位入賞を狙うことを目標に練習してきたので、気合は十分にありました。しかし、いざ試合が始まるとどんどんと引き離され、結果は6位、最下位でした。

翌日は敗者復活戦でした。昨日はだめだったけれど、今日は絶対に上がるぞという気持ちでレースに臨みました。この敗者復活戦で3位までに入れば、上のクラスに進めるのですが、私たちがどんなに必死に漕いでも引き離されるばかりでした。結果は4位で上には進めず、13位~15位決定戦のC決勝に行くこととなりました。

C決勝では1位になることができましたが、私たちはこの大会、舵手なしクォドルプルという種目では15艇中の13位という結果に終わりました。この結果となったことは、とても悔しかったです。国内の大会では良い結果を出してきましたが、いざ世界の舞台で戦ってみると、まだまだ自分の力が及ばないことを痛感させられました。外国の選手はこんなにも力強いのか、日本の競技力はまだまだ低いのか、自分はまだまだ未熟だったのか。世界との高い壁を感じさせられ、ほろ苦い思い出になったとともに、滅多にできない貴重な体験をさせてもらいました。

今思うと、私はこの大会を含め、いつも思い切り部活動に打ち込むことができました。それは、今までボート部を支えてきてくださった皆さんのおかげです。そんな皆さんに、胸を張って報告ができるような結果を出すことができなくて、大変申し訳なく思っています。

## 平成26年度 全国大会優勝

### ボート部

全校高校総体 女子クォルドプル優勝 平成26年 南関東総体

井 川 奈 菜

私は、2度〈インターハイ〉の舞台を経験することができました。1度目は〈北部九州総体〉です。私は補漕としての参加だったので、レースには出場せず、ビデオを撮ったり選手のサポートをしたりしました。見事優勝し、喜びを爆発させる先輩や仲間を見て自分のことのように嬉しく、とても感動しました。それと同時に、今度は私がレースに出場し、漕いで勝つ喜びを味わいたいと思いました。

その後、全国大会優勝を目標に掲げ、水上や陸上での厳

しいトレーニングを積みました。そして、国民体育大会、〈全国高校選抜大会〉での優勝を経て、もう一度〈インターハイ〉でレースをするチャンスをつかむことができました。二度目の〈インターハイ〉は、南関東総体です。しかし、今回の〈インターハイ〉には主力である棚橋は出場できませんでした。ドイツで行われるジュニアオリンピックと開催時期が重なっていたからです。入部当初から棚橋の努力やパワフルな"漕ぎ"を近くで見てきた私にとって、棚橋のジュニアオリンピック出場の決定は心から嬉しかったです。が、彼女の強さを知っている分、〈インターハイ〉で一緒に漕げないと思うと心細い気持もありました。

また、私は7月の中旬に腰を故障してしまい、体を動かせない日々が続きました。なかなか良くならず、日常生活がままならない時もありました。そのため、7月下旬に行われた〈インターハイ〉直前合宿でも全く練習に参加できず、本来4人で漕ぐはずのボートを私以外の3人に任せるしかありませんでした。迷惑をかけてしまっている申し訳なさや、私が全く練習できなかったために、本番への焦りを感じずにはいられませんでした。主力メンバーの欠場と自分の体の状態を考えると、どんどん不安が大きくなりました。しかし、これまでに先輩や仲間が残してきた全国大会2連覇という記録を途切れさせたくない、ドイツにいる棚橋に良い報告がしたい、そして、なにより精一杯漕いで結果を出したい。様々な気持ちが混じり、緊張も高まりました。

そして山梨県の富士河口湖の会場へ入りました。私は開会式で昨年度の優勝カップを返還しましたが、会長さんの手に優勝カップが渡った時、「絶対にもう一度優勝カップをもらいたい」と思いました。3日間の公式練習ではやっと漕ぐことができ、久しぶりの水の感覚と、私が練習に参加できない間に成長した他の3人の力強い"漕ぎ"を感じることができました。艇がよく伸び、気持ちよく進む感覚が楽しくて、とても充実した公式練習が行えたと思います。

いよいよ予選のレースをする日を迎えました。会場入りする前に感じていた不安な気持ちは全くなく、レースが楽しみでワクワクしていました。クルーの中には緊張で顔がこわばっているメンバーもいましたが、みんなで肩を叩き合ったり、「リラックスしよう!」「1本1本落ち着いて行こう!」と声を掛け合ったりして、気持ちを一つにしてレースに臨みました。結果、順位は2位でした。予選は通過したものの、どこかまだぎこちない部分があったと反省しました。クルー同士で、もっとのびのびしたパフォーマンスをしようと話し合いました。

そして準々決勝を迎えました。会場入りして1本レースを経験しているからか、固くなることなく、良い緊張感を持ってレースができました。結果、準決勝に進むことができました。レースが終わった後はメンバー全員から、「しっかりと体が使えた!」、「思いっきり漕げた!」という声を聞くことができました。レースをするたびによりよいスピードが出せるようになったことが感じられました。準決勝も勝ち進み、あっという間に決勝のレースを迎えました。こまできたらあとは楽しむだけ、といつものように円陣を組み、西原先生と握手を交わし水上に出ました。西原先生

がかけてくださった、「思いっきりやってきなさい。」という 言葉がとても心に響き、私は攻めるレースをしようと意気 込みました。決勝のレースはとにかくがむしゃらに漕いだこ としか覚えていません。コックスの声、漕ぎ手の雄叫びの ような声、どんどん上がるテンポ、全てが楽しくて、疲れも 痛みも何も感じずにただただ必死に漕いでいました。

そして、レースの結果が発表される時になりました。ゴール直前は自分たちのクルーが他のクルーとどのくらい離れていたかはっきり分からなかったので、審判の方のアナウンスで正確な結果を知りました。自分たちが1着であるように手を合わせて祈りながらアナウンスを待ちました。「1着、加茂高校。」と聞いた時は、言葉にできないくらい嬉しくて、涙が止まりませんでした。そして、ドイツにいる棚橋に良い報告ができることが嬉しくて、「ひでー!」と棚橋の名前を叫びました。あの時の感動は今でも忘れられません。開会式で強く思ったようにもう一度優勝カップを持ち帰ることができて本当に嬉しかったです。

私は、ボート部に入部して、自分がどれだけ周りの人に 支えてもらっているかを改めて感じました。毎日の練習に 参加できる環境を作ってくれた家族、たくさんの指導をし てくださった先生方、故障が長引いて迷惑をかけてもポジ ションを任せてくれたチームメイト、応援してくださった 方々。様々な方々のおかげで、私は今までボート部を続け ることができました。また、全国規模の合宿や大会に参加 する機会を与えていただき、全国のライバルといろんな交 流をすることができました。その交流を通して、たくさん の刺激を受け、自分自身の視野が広がりました。そして、 目標に向かって努力することの大切さを学びました。辛い とき、諦めずに頑張れたのは同じ目標を持つチームメイト がいたからです。目標があったからこそ、その目標を達成 するために毎日の努力を積み重ねることができました。結 果ももちろん大切ですが、その結果を出すために努力する ことがいろんな面での成長につながったと思います。

ボート部の一員として活動し、3年間で得たものをこれからの大学生活、社会人となっても生かしていきたいです。ありがとうございました。



# 平成26年度 全国大会優勝

### 囲碁将棋部

全国高校文化連盟将棋新人大会 男子個人優勝 平成27年 新潟県

中島灯希

平成27年1月30、31日の2日間にわたり新潟県のホテルオークラ新潟で行われた将棋新人大会に出場しました。10月に行われた岐阜県大会に比べ、さすが全国大会は強豪ぞろいで油断できませんでした。予選4試合、決勝トーナメント5試合のどの試合も気が抜けず、苦戦を強いられた戦いが続いたことが印象的でした。

結果的に今回の試合で全国優勝できました。この結果 は岐阜県の男子で初の快挙ということを知りとてもうれ しかったですが、それと同時に全国の将棋を愛する仲間 と交流が持てたことや友人がたくさん増えたことが大き な財産となりました。



# 平成26年度 全国大会出場

#### 自然科学部

全国高校総合文化祭自然科学部門 平成26年 いばらき総文2014

小木曽 博 幸

私は平成26年7月28日~30日につくば国際会議場で行われた〈第38回全国高校総文祭〉〈いばらき総文2014〉の自然科学部門に岐阜県代表として参加しました。ポスター発表の部で、八百津高校との共同研究である「国内のアルゼンチンアリの行動学的分類および侵入経路・スーパーコロニー分化に関する研究」の発表を行いました。これは日本では特定外来生物に指定されているアルゼンチンアリが国内でどのように移動し、東海地方へ侵入したのかについての研究です。発表は27・28日の2日間行われ、大勢の方々に訪れていただきました。自分たちの研究についてきちんと理解していただけたときは、この上もない喜びを感じ、研究を続けてきて良かったと思いました。また、「日本へ



の侵入は山口県ではないのか?」「宮古高校が別のアリで似た研究をしているのが、実験基準がちょっと違うからその方法でやってみたらどう?」などといった情報も得ることができ、非常に充実した期間を過ごすことができました。

大会期間中は研究発表の他にも、宇宙飛行士の古川聡さんによる記念講演、生徒実行委員会による生徒交流会、サイエンスカフェ、巡検研修など様々な行事が行われました。巡検研修では私は土木研究所と国土地理院へ行きました。土木研究所では巨大なダムの模型を使用した実験の様子を見学したり、事故や経年劣化で取り壊された橋の一部を見たりしました。特に潮風があたると劣化が早く、塗装の種類を間違えたり、少しでも塗り残しがあったりするとすぐに底からボロボロになっていくことが実感できました。国土地理院では様々な種類の地図や地球儀等を見ることができました。しかし、時間の都合上長く見学することができなかったことが残念でした。また見学に行きたいと思いました。

私たちの今大会での成績は文化連盟賞というものでした。 最高位である文部科学大臣賞を目標としていたので少し残念でした。しかし、それほど話し上手でない私が、審査団と大勢の観客を前にきちんと発表できたことは自信になりました。その他、審査団以外の一般の方々からの評価は内容がよく分かったという評価が多かったのですが、一方で「よく分からない」、「ポスターが見にくい」という意見もあり、改善すべき点が発見されたので後輩に伝えていきたいと思いました。全体としては非常に充実した大会でした。後輩にも全国大会を目指して研究を頑張って欲しいです。

最後に私たちを支援してくださった河田先生、木澤先生 をはじめ関係する全ての皆様ありがとうございました。



# 平成28年度 全国大会出場

#### ソフトボール部

全国高校選抜大会 平成28年3月 静岡県 全国高校総体 平成28年8月 広島県

荒 井 孝 圭・纐 纈 莉 良

#### ○春の〈全国選抜大会〉出場までの道のり

僕たちソフトボール部は、平成28年3月に静岡県で開催さ

れた〈全国選抜大会〉に出場しました。昨年も全国大会に出場しましたが、結果は一回戦敗退でした。目標だった全国大会出場は果たすことができましたが、一つも勝つことができませんでした。県大会とはレベルも雰囲気も全く違い、全国大会で勝つことの厳しさを感じました。

前年度のチームは、〈全国選抜大会〉が終わったあと、5月に〈インターハイ〉予選がありましたが、力を出し切れないまま一回戦で敗退してしまい、とても悔しい思いをしました。6月から新チームになり、最初の練習でミーティングを開きました。そこで一人一人のやるべきことを徹底して、「全国大会で勝つ」という目標を掲げました。新チームになってから、練習中にお互いに厳しく言い合えるようになり、一つ一つのプレーの中で「ここをこうしたらよい」と確認し合い、チーム全体で意識を高めることができるようになりました。しかし、7月に行われた新チーム最初の公式戦である県選手権大会では優勝することができませんでした。また夏休み中の練習試合でも反省する点がたくさんあることに気づき、このままでは次の〈新人大会〉も優勝できないと思いました。

そこで10月の〈新人大会〉までは短期間でしたが、練習時間を一分一秒でも無駄にしないように、少しでも空いている時間があったら、トスバッティングをしたり、黙々とピッチングをしたり、自分たちでノックをしたり、家では素振りをしたりしました。このように一人一人ができることを積み重ね、少しずつ成長し、大会に臨むことができました。

〈新人大会〉を迎えるにあたって、それまでの不安に思うことなどがすっかりなくなりました。〈新人大会〉では今まで練習してきた成果が存分に発揮し、一人一人が100%の力を出し切りました。試合に出場する選手は集中力を切らさず試合に臨み、ベンチにいる選手は試合に出場する選手のサポートや声かけ、素振りをしていつでも呼ばれる準備をしていたりとチーム一丸となって試合をしました。〈新人大会〉では、初戦が7回逆転サヨナラ勝ち、決勝も途中まで0対3で劣勢でしたがみんなの「諦めず優勝する」という強い気持ちで逆転勝利を収め、優勝することができました。みんなの努力が実を結んで全国大会出場を勝ち取ることができ、ほんとうに嬉しかったです。

春の〈全国選抜大会〉までには冬のトレーニングを挟みました。春の全国選抜を控え、全国大会で1勝することを目標に掲げてから、冬のトレーニングにも真剣に取り組むようになりました。

そして迎えた春の〈選抜大会〉。全国の舞台に立つのは2回目でしたが、やはり県予選とは違う雰囲気と緊張感がありました。結果は6対3で負けてしまいましたが、今までで一番粘れていたし、気持ちが前面に出ていた試合でした。バッティングで活躍できなくても守備で活躍する選手、試合に出場できなくてもベンチで雰囲気を盛り上げていた選手など、まさに全員塁球(ソフトボール)をしていたと思います。

### ○夏の〈インターハイ〉出場までの道のり

新年度になり、監督や顧問が変わり新体制になりました。〈インターハイ〉予選まで残り2か月を切ったところで監督が変

わるのは正直不安でしたが、今までの雰囲気のままやらせて もらえたので不安はすぐになくなりました。

〈インターハイ〉予選までの間、練習一つ一つを大切にしていきました。ただひたすらバッティング練習をするのではなく、試合を想定し、ランナーの状況に合わせてライト方向、レフト方向に打ち分けることで最悪でも進塁打になることを目的としました。一人のバッティングでというわけでなく、チーム全体で点を取りに行くチームプレーを意識したバッティング練習をしました。また守備練習では、普通のゴロ、バントの処理を軽い気持ちではなく、確実に取れるアウトを絶対逃さないという強い気持ちを持って練習しました。一つ一つのアウトの大切さを再認識し、アウトを逃さぬように丁寧なプレーを練習から意識し、何回も繰り返すことでエラーの数も減らすことができました。

そして迎えた〈インターハイ〉予選、負けたら3年間の部活動が終わりになる、そうならないためにも全員が全力でプレーしました。試合は打線が爆発して2戦ともコールド勝ちで優勝し、〈インターハイ〉出場を決めました。今までやってきたことが発揮され、つないでいくバッティングやミスの少ない守備が各所で見られました。

〈インターハイ〉までは時間が少なく、3年生は自分の進路のために勉強をしなければならなかったり、体育祭の応援団をやる人もいたりして、全員で練習をする機会も6月の〈東海大会〉を終えてからは、水曜日と金曜日しかありませんでした。しかしその短期間の限られた練習日の中で、今までよりもさらに集中力を高め、個々の自主練習により選手一人一人の技術はもちろんのこと、チームとしての技術を高めていきました。

〈インターハイ〉では相手チームの雰囲気にのまれてしまい、力を出し切ることができず1回戦で敗退してしまいました。新チームになってからの目標であった全国大会で勝つことは達成できず、身をもって全国の壁を感じました。しかし今後勝つチャンスは必ず来ると思うので、次の代の後輩たちには僕たちの分まで頑張ってもらって全国で勝ってほしいです。

#### ○最後に

僕たちが全国の舞台に2回も立つことができたのは、ずっと僕たちを信じ、指導してくださった坪内先生、赤塚先生、竹内先生、成瀬先生、森島先生や、ソフトボール部を応援してくださる多くの人たちのおかげだと思います。これからは部活動で身につけた精神力を発揮して、文武両道の加茂高生として、勉強を頑張ってそれぞれの進路希望を実現させたいと思います。



# 平成28年度 国際大会出場

#### ボート部

世界ジュニア選手権 男子クォドルプル23位 平成28年8月 オランダ・ロッテルダム

吉田拓人

私は〈世界ジュニア選手権大会〉と〈アジアジュニア選手権大会〉に出場することができました。国内の試合ではなく、世界レベルでの試合を経験することで、とても貴重な体験と時間を過ごすことができました。

私が〈U19日本代表〉になることができたのは、〈ジュニア日本代表コーチ〉である古田先生より直接、練習から指導をしていただいたからです。そして、私の目標である「〈ジュニア日本代表〉に入る」ために、するべきことを明確にして、実現することができました。〈ジュニア日本代表〉に選ばれるには、12月の合宿に出て、翌年の6月に行われる2000メートルの選考レースで6位以内に入賞をする必要があります。私はこの大会で6位に入ることができ、代表になることができました。

〈世界ジュニア〉と〈アジアジュニア〉の大会への出場した種目名は、舵手なしクォドルプルと言い、漕ぎ手が4人とその中の1人が舵をとる種目です。8月に〈世界ジュニア選手権大会〉、10月に〈アジアジュニア選手権〉が開催されました。私は、2つの世界の大会を通して、国内の大会とは全〈違う雰囲気を味わいました。試合が近づくにつれ、緊張感が増えて、さらに外国の選手の体格の大きさに驚かされました。

8月には〈世界ジュニア選手権大会〉がオランダで、10月にはタイで〈アジアジュニア選手権大会〉が開催されました。私はこのクルーのメンバーの4人と国内の合宿を通して、力を身に付けてきました。この4人は合宿中に共に支え合い、競い合って高め合ってきた最高のメンバーです。こんな4人と自信をもって試合に向けて、万全な心身の状態で臨めるように試合までの調整をしました。海外の大会は時差も伴い、大会現地の気温や時間に体を慣れさせるのは2日ほどかかりました。

そして、待ちに待った試合当日、このクルーでの初めての海外のレース、私は国内での経験と、自分のできることをすべて出し尽くそうと心に決めて臨みました。全体の結果は23位、レースが終わって、私は世界で戦うことは、とても厳しく、難しいことを痛感しました。世界の選手と並べて競うことができたこの大会で、少しずつではありますが戦っていける実感を感じ取れました。遠い存在ではなく、掴めそうなところまで来ていると思います。しかし、結果がすべてです。いい報告ができないことはまだ力が足りず、本当の実力として身に付いていないことは明らかです。世界大会を通して、世界の選手と戦っていくために何をしなければならないのかをしっかりと考えることができたと思います。

世界大会に出場することができたことは、多くの方の支



えがあったからです。ボート部顧問の先生方、加茂高校の 先生方、指導してくださった学外や他県に及ぶコーチの支 えがありました。書ききれないほど、多くの方々に携わっ ていただいたことに感謝の気持ちを忘れず、私が次に目指 すべき目標を成し遂げられるよう、これからはまた挑戦者 の気持ちを忘れずに取り組みます。



## 平成29年度 国際大会出場

### ボート部

世界ジュニア選手権 女子ダブルスカル11位 平成29年8月 リトアニア

西田結惟

私はU-19日本代表として、リトアニアで開催された〈世界ジュニア選手権大会〉に出場しました。世界の同世代の選手達とレースをし、とても有意義な時間を過ごすことができました。

私はダブルスカルという種目に出場しました。12位以上を目標とし、一つ上の先輩と合宿を重ねました。結果は11位と目標を達成することができましたが、10位とは0.6秒、9位とは0.65秒差で、1秒の重さを感じとても悔しかったです。世界で戦うことができるという自信と、さらに上を目指すための課題を知ることができ、練習に対するモチベーションが上がりました。

世界大会に出場し目標を達成することができたのも、ボート部の顧問の先生方、加茂高校の先生方、学外や他県の指導してくださった先生方の御協力、友人からの声援があったからです。携わっていただいた方々への感謝の気持ちを忘れず、より上位を目標に練習に取り組みたいと思います。本当にありがとうございました。



## 平成29年度 全国大会優勝

### ボート部

全校高校総体 女子クォルドプル優勝 平成29年8月 南東北高校総体

鈴木里都

加茂高校ボート部は〈インターハイ〉優勝という大きな目標を一番に持ち練習してきました。冬の筋力、体力アップのトレーニングや、夏の水上での"漕ぎ込み"などの練習が辛くてきついと思ったことは何度もあります。それは自分だけではなく、部のメンバーみんな同じなので声を掛け合い、励まし合うことで乗り越えられました。

しかし、最初から全てうまくいっていた訳ではありません。漕ぎ手が4人で、1人が舵取りと指示をする競技なので全員の"漕ぎ"と"舵"が揃ってないと早く船を進めることができません。漕ぎが合わなくてバラバラになったり、一人一人の船の感覚が違って意見が異なったりすることもありました。また、思っているように船が進まず険悪なムードの時もありました。そんな時も目標は全員一緒で優勝だったのでなんでも思ったことは言い合い、挑戦者として全力で練習に取り組み、信頼し合える良いチームを作り上げることができました。また、顧問の先生方が私たちの"漕ぎ"を見て指導して下さったり、会場までの移動や船の調整をして下さったりと、全てにおいてサポートしていただきました。そして、〈インターハイ〉で優勝できたのは、メンバー全員の勝ちたいという強い気持ちがあったからです。

このように自分たちだけの力で優勝を勝ち取るのは到底無理だと思います。練習する場所や船、良い環境があるのは代々の先輩方、先生方、一緒に練習する仲間、部活動をする私たちを毎日支えてくれる両親がいるからです。この感謝の気持ちを忘れず、〈インターハイ〉優勝で学んだ最後まで諦めない心を持ち、これからの競技や普段の生活に生かしていきたいと思います。



# 全日制 担 任

# 1年生

クラス	平成 11年度	平成 12年度	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度
学年主任	山田和美	別所正史	高寺義朗	後藤ひとみ	茂角良三	渡辺昌文	藤井佳一	水口 猛	池村和浩	杉山清治	水口 猛	國居秀則	大島達史	生駒伸一	長谷川智明	小島和秀	丸谷利幸	加藤泰幸	出川尚之	白井靖彦
1	加藤寿朗	小野 悟	渡辺昌文	太田美智子	角田文嗣	山田哲志	藤井佳一	二村文敏	千葉有茂	生駒伸一	熊崎俊介	國居秀則	大島達史	生駒伸一	木澤慶和	出川尚之	白井靖彦	岸亜美	後藤あやみ	大塚志門
2	猪飼迪子	小牧憲充	井上いずみ	杉山広之	古川真哉	竹内芳子	井戸由美	井戸由美	津﨑裕子	林 義貴	竹内芳子	金森康二	長屋貴大	安田衣里	山田千鶴	坪内清次郎	吉川敏幸	中島將仁	長屋貴大	山本僚郎
3	砂場道明	深尾出路	山田哲志	藤澤一博	河内祥子	河内祥子	丹羽順子	西 善弘	古川真哉	井戸星子	加藤泰幸	津﨑裕子	加藤泰幸	丹羽沙也子	若園直矢	吉川敏幸	柴田佳祐	前田博子	門有宏	白井靖彦
4	有賀欣哉	松尾英子	長谷部紫	井戸星子	木澤慶和	市村孝嗣	井川茂雄	小俣太志	池村和浩	浅見和人	横山也寸志	武藤秀彦	市原賢優	加藤泰幸	夏目達也	田中里香	吉田 智	柴田佳祐	酒井宏昌	山中徹也
5	角田文嗣	猪飼迪子	池村和浩	長沼照代	大江葉子	古川真哉	井戸星子	河田雅幸	川出真由	杉山清治	水口 猛	横山也寸志	山本幹也	熊崎俊介	長谷川智明	田之本麻衣子	鹿嶋淳美	加藤泰幸	瓜田裕哉	鹿嶋淳美
6	水野壽満	永瀬由香	水野壽満	布山淳一	杉山広之	内海達也	浅見和人	水口 猛	酒井恭士	市原賢優	長谷川智明	前田博子	田之本麻衣子	吉田 智	津﨑裕子	長屋貴大	坪内清次郎	可児奈緒美	出川尚之	井上悟郎
7	布山淳一	布山淳一	井戸星子	後藤ひとみ	前田 仁	高木茂和	小島和秀	林 綾子	古川伸一	中澤恵美	二村文敏	仲 幸子	吉川敏幸	小島和秀	山田幸子	髙木小百合	髙木小百合	吉川敏幸	田之本麻衣子	津田健介
8	藤澤一博	日野順徳	長沼照代	木澤朗	加藤寿朗	渡辺昌文	川原正史		國居秀則	川口晋	小島和秀	大島達史	小林竜二郎	二村文敏	前田博子	小島和秀	竹内洋平	渡辺俊丈		
9	塚原秀幸	山田幸永	丸山宏	加藤寿朗	茂角良三									川口晋	渡辺俊丈	吉井綾子	丸谷利幸			
10	木澤朗	高木茂和	酒瀬川真一											中澤恵美		津田健介				

# 2年生

クラス	平成 11年度	平成 12年度	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度
学年主任	大坪眞之	後藤ひとみ	別所正史	竹中正子	長沼照代	茂角良三	市村孝嗣	渡辺悦男	水口 猛	國居秀則	杉山清治	水口 猛	岩田庸一	大島達史	生駒伸一	長谷川智明	出川尚之	丸谷利幸	吉川敏幸	後藤あやみ
1	太田美智子	角田文嗣	石井和子	渡辺昌文	井戸星子	藤井佳一	古川真哉	井戸星子	二村文敏	國居秀則	浅見和人	熊崎俊介	津﨑裕子	田之本麻衣子	二村文敏	津﨑裕子	田之本麻衣子	丸谷利幸	可児奈緒美	田之本麻衣子
2	長谷部紫	村上宏俊	松尾英子	林 直樹	井戸由美	加藤寿朗	竹内芳子	浅見和人	竹内芳子	酒井恭士	林 義貴	竹内芳子	金森康二	大島達史	白井靖彦	木澤慶和	長屋貴大	白井靖彦	柴田佳祐	長屋貴大
3	石井和子	塚原秀幸	高木茂和	山田哲志	井川茂雄	酒井恭士	市原賢優	井川茂雄	河田雅幸	千葉有茂	仲 幸子	吉田 智	出川尚之	坪内清次郎	中澤恵美	若園直矢	佐藤正樹	山田千鶴	岸 亜美	後藤あやみ
4	別所正史	木澤慶和	日下部高敏	山川隆	松井裕子	杉山広之	永瀬由香	小島和秀	水谷浩久	古川真哉	生駒伸一	松原勝久	仲 幸子	竹内洋平	丹羽沙也子	夏目達也	田中里香	鹿嶋淳美	安達裕史	酒井宏昌
5	林 直樹	木澤朗	小牧憲充	長谷部紫	若山徳明	松原勝久	水谷浩久	井戸清治	西 善弘	津﨑裕子	杉山清治	二村文敏	武藤秀彦	影浦 学	小島和秀	山田幸子	酒井宏昌	佐藤正樹	中島將仁	市村康晴
6	小野康雄	水野壽満	前田 仁	井上宜生	木澤朗	松尾英子	高橋知子	中澤恵美	井戸由美	吉川敏幸	井戸清治	水口 猛	前田博子	長屋貴大	生駒伸一	長谷川智明	高木志保	竹内洋平	吉川敏幸	鈴木 愛
7	小牧憲充	加藤寿朗	深尾出路	竹中正子	川原正史	茂角良三	内海達也	生駒伸一	水口 猛	古川伸一	市原賢優	小島和秀	岩田庸一	吉川敏幸	松原勝久	前田博子	水口智人	羽中田亜理沙	田中里香	門有宏
8	堀修	杉山広之	猪飼迪子	池村和浩	長沼照代	池村和浩	市村孝嗣	渡辺悦男	杉山清治	松原勝久	川口晋	長谷川智明	木澤慶和	小林竜二郎	川瀬大樹	渡辺俊丈	出川尚之	吉田 智	渡辺俊丈	
9	前田 仁	井上宜生	河田圭介	酒瀬川真一	太田美智子	石原康秀	河田圭介								川口晋		津田健介	井上悟郎		
10	河田圭介	竹中正子	渡辺克人	植田美智留																



# 3年生

クラス		平成 12年度	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度
学年主任	山田幸永	高寺義朗	後藤ひとみ	高寺義朗	後藤ひとみ	櫻井 護	茂角良三	市村孝嗣	渡辺悦男	水口 猛	國居秀則	杉山清治	松原勝久	松原勝久	小林竜二郎	生駒伸一	長谷川智明	出川尚之	丸谷利幸	吉川敏幸
1	玉置啓示	太田美智子	堀修	石井和子	山川隆	井戸星子	水口 猛	古川真哉	生駒伸一	水口 猛	津﨑裕子	浅見和人	熊崎俊介	津﨑裕子	田之本麻衣子	影浦 学	津﨑裕子	田之本麻衣子	羽中田亜理沙	岸 亜美
2	渡辺克人	長谷部紫	村上宏俊	渡辺克人	林 直樹	井戸由美	國居秀則	竹内芳子	浅見和人	今井弘文	酒井恭士	加藤泰幸	吉田智	金森康二	出川尚之	可児奈緒美	若園直矢	後藤あやみ	佐藤正樹	天池光広
3	山川隆	渡辺克人	加藤寿朗	松尾英子	山田哲志	井川茂雄	酒井恭士	市原賢優	市原賢優	竹内芳子	田中里香	小林竜二郎	生駒伸一	出川尚之	坪内清次郎	白井靖彦	加藤泰幸	長屋貴大	鹿嶋淳美	柴田佳祐
4	木澤慶和	石井和子	日野順徳	猪飼迪子	長谷部紫	前田 仁	杉山広之	酒井恭士	川口晋	水谷浩久	古川真哉	生駒伸一	松原勝久	仲 幸子	田中里香	丹羽沙也子	可児奈緒美	田中里香	白井靖彦	佐藤正樹
5	村上宏俊	堀修	木澤朗	村上宏俊	櫻井 護	長沼照代	加藤寿朗	水谷浩久	松原勝久	河田雅幸	吉川敏幸	吉川敏幸	二村文敏	松原勝久	影浦 学	竹内洋平	長谷川智明	出川尚之	金森康二	中島將仁
6	井上宜生	籠橋数浩	林 直樹	高木茂和	深尾出路	川原正史	池村和浩	川口晋	井戸清治	井戸由美	河田雅幸	井戸清治	川口晋	前田博子	竹内洋平	生駒伸一	中島將仁	水口智人	石井清治	石井清治
7	杉山広之	河田圭介	杉山広之	小牧憲充	酒瀬川真一	水谷浩久	松尾英子	國居秀則	石原康秀	二村文敏	松原勝久	市原賢優	小島和秀	長谷川智明	吉川敏幸	水口智人	前田博子	高木志保	丸谷利幸	吉川敏幸
8	高木茂和	山川隆	角田文嗣	深尾出路	池村和浩	水口 猛	桂川金衛	石原康秀	林 綾子	吉井綾子	古川伸一	川口晋	長谷川智明	木澤慶和	小林竜二郎	川瀬大樹	渡辺俊丈	酒井宏昌	津田健介	渡辺俊丈
9	後藤ひとみ	前田 仁	井上宜生	前田 仁	植田美智留	小島和秀	茂角良三	池村和浩								木村京子		津田健介	井上悟郎	
10	小野悟	林 直樹	竹中正子	河田圭介	渡辺克人															

# 定時制 担 任

# 全学年

学 年	平成 11年度	平成 12年度	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度
1 学 年	長屋 修	牧田二郎	加藤宗太郎	加藤宗太郎	安藤和章	加藤宗太郎	安藤和章	多賀敏和	松井直也	安藤理絵	山岸岳大	上野真弘					上野真弘 尾関清光			
2 学 年	梅田有剛	梅田有剛	渡辺義彦	渡辺義彦	加藤宗太郎	渡辺義彦	渡辺義彦	渡辺義彦	多賀敏和	松井直也	松井直也	山岸岳大	上野真弘	伊藤貴晴	渡部正実	三輪周平	三宅康平	上野真弘	尾関清光	今井誠弥
3 学 年	加藤宗太郎	加藤宗太郎	渡辺邦友	渡辺邦友	渡辺義彦	安藤和章	牧田二郎	安藤和章	青木 久	井神明子	粥川責也	水谷浩久	加納 篤	上野真弘	伊藤貴晴	渡部正実	三輪周平	杉山愛美	渡邉 憲若宮洋介	熊澤 忍
4 学 年	津田厚雄	長屋修	石上和晴	安藤和章	牧田二郎	牧田二郎	多賀敏和	牧田二郎	渡辺義彦	渡辺義彦	井神明子	粥川責也	水谷浩久	舟橋紀一	上野真弘	舟橋紀一	渡部正実	三輪周平	杉山愛美	尾関清光

88

# 全日制 職員在職年数(平成11~30年)

●校 長

氏	名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
森	俊勝																				ı
岩田	孝志																				
髙屋	一行																				
古川	和明																				
白川	誠																				
大平	高司																				
鹿野	孝紀																				
篠田	憲明																				
髙橋	博美																				
平野	弘																				
藤掛賀	津博																				

●教 頭

- 3/																					
氏	名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
西山	公尚																				
林	洋造																				
	二三男																				
生田	邦夫																				
原	賢仁																				
石井	謙二																				
渡邉	克尋																				
藤掛賀	買津博																				
田村	直明																				
天池	光治																				

■国語科

●国語科																				
氏 名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
	暁																			
奥田美智																				
土屋 敏村																				
伊藤	薫																			
	<u></u>																			
砂場道																				
長谷部																				
後藤ひとる																				
塚原 秀																				
平石 恵																				
松尾英																				
	宏																			
井戸由																				
古川真語																				
川原 正5																				
小森 幸																				
竹内 芳	子																			
國居 秀男	<b>[1]</b>																			
佐藤 恵-	_																			
生駒 伸-	-																			
町井 知†	世																			
横山也寸	志																			
安田 衣	里																			
田之本麻衣	子																			
丹羽沙也-	子																			
山田 千額																				
守屋 好																				
鹿嶋 淳																				
柴田 佳神																				
成瀬 和原																				
井戸 由																				
山中 徹台																				
講師																				
宮田 千里	<b>I</b>																			



氏	名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
草薙	郁美																				
遠藤	宗平																				
若井	陽子																				
長沼	雅子																				
牧村	修																				
奥田美	美智子																				
鹿嶋	淳美																				
真船厢	麻里子																				
井戸日	田康子																				
浅野	知世																				
紀藤	聡子																				

## ●地歴公民科

	公氏																				
	名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
間宮																					
	昌穂																				
都竹	隆志																				
山本	登																				
	利行																				
	克人																				
井上	宜生																				
林	直樹																				
村上																					
日野	順徳																				
日下台	『高敏																				
河内	祥子																				
和田	浩																				
酒井	恭士																				
松原	勝久																				
桂川																					
浅見																					
	有茂																				
	孝司																				
	泰幸																				
	達史																				
	尚之																				
	青次郎																				
白井	靖彦																				
	······· ·····························																				
+#	誉仁																				
	清治																				
	志門																				
	善紀																				
	師		l						1		1										
	有史																				
都竹	<u></u>																				
	琢也																				
	金衛																				
赤塚																					
	<del></del>																				
	紗希																				
	<u>  砂布 </u> えり子																				
	文典																				
女膝	义兴																				

## ●数学科

	1.1																				
氏	名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
武邑	恵右																				
藤澤	一博																				
山田	幸永																				
前田	仁																				
高寺	義郎																				

氏	夕	H11	H12	H12	H1/4	H15	H16	H17	H18	Н10	H20	H21	H22	H23	H2/L	H25	H26	H27	H28	H29	H30
堀	修		1112	1113	1114	піз	пто	1117	1110	ШЭ	HZU	1121	HZZ	П23	ПZЧ	П23	HZU	HZ/	1120	1123	ПЭО
水野																					
小野	悟																				
木澤	朗																				
深尾	出路																				
渡辺																					
酒瀬川																					
茂角																					
若山																					
高橋																					
小島																					
石原																					
市村																					
川口	普																				
川出																					
丹羽																					
小俣	太志																				
古川	伸一																				
杉山																					
今井																					
熊崎																					
仲	幸子																				
山田	幸子																				
小林音	三郎																				
武藤																					
竹内																					
若園																					
渡辺	俊丈																				
山内	生真																				
津田	健介																				
安達	裕史																				
織部																					
武田																					
鈴木	愛																				
門	有宏																				
	僚郎																				
講																					
松野	幸子																				
	<u></u> 欣吾																				
棚橋																					
武邑	恵右																				
牧村	修																				
横山	友香																				
	一博																				
森																					
筑樋																					
	克尋																				
森島																					
境田																					
青木																					
河合																					
_ 시키 <u>.</u> ㅁ.	光十																				

## ●理 科

氏	名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
	邦彦																				
山田	和美																				
竹中	正子																				
山川	隆																				
加藤	寿朗																				
錦見	喜朗																				
籠橋	数浩																				



氏	々	H11	H12	U12	H1/	U15	<b>⊔16</b>	H17	ш10	<b>⊔10</b>	H20	H21	<b>⊔</b> ⊃⊃	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
小野	康雄	1111	пі	піз	піч	ПІЭ	пто	HI/	піо	піэ	п20	пи	п22	п23	П24	п25	п20	п2/	П20	п29	по
木澤																					
河田																					
長沼	照代																				
池村	和浩																				
松井																					
水谷	浩久																				
松浦	真紀																				
谷口																					
吉井(村																					
井戸																					
渡辺	悦里																				
河田																					
	恵美																				
吉川	敏幸																				
長谷川	川智明																				
岩田	庸一																				
川瀬																					
水口	智人																				
中島	將仁																				
須田	知代																				
丸谷																					
酒井																					
井上																					
市村	康晴																				
天池																					
	師																				
講																					
西田	亮																				
高間	肇																				
杉山	謙次																				
西尾	邦彦																				
富田	鮎美																				
寺下	真紀																				
野村	直志																				
井上	悟郎																				
可知																					
小島																					
須田	知代																				
渡辺	悦男																				
藤村	優																				
山田工自																					
	佳奈																				
実習																					
鈴木百																					
傍島																					
原	公香																				
	友子																				]
林	怜																				
実習即															•						
原	公香																				
	<u>五日</u> 友子																				
	 とえ子																				
石原有																					
丹羽さ																					
小島																					
溝際																					
林	怜																				
小島																					

## ●保健体育科

	- ITT I I I I	U12	H13	H14	H1E	Ш16	U17	Ш10	H10	Нэл	U21	⊔22	шээ	H24	H2E	Ш26	H27	шэө	H29	ПЗО
田立区	茂治	 пі2	ніз	пт4	піэ	пю	HI/	пів	пія	H2U	пи	п22	п23	П24	ПДЭ	п∠б	п2/	п∠о	H29	по
ᄱᅓ																				
佐藤																				
石上	<b>札</b> 晴																			
横山	厚志																			
	元治																			
細井	芳子																			
小牧																				
杉山	広之																			
永瀬	山丞																			
山田																				
吉田																				
青田																				
井川																				
内海																				
横井内																				
酒井																				
西	善弘																			
古田																				
林	義貴																			
垣下																				
矢﨑	誠																			
金森	由一																			
吉田	智																			
長屋																				
夏目																				
杉山																				
座馬϶	€都志																			
講	師																			
藤原	厚良																			
古田																				
平出名																				
安藤																				
伊佐治																				
可知	<del>」                                    </del>																			
고프	記入 =>+																			
石井	課—																			
夏目																				
水谷																				
西原	修二																			
西部																				
養護	教諭																			
	由希子																			
福井直	自由美																			
後藤	紬子																			
栗本																				
安江																				
養護則																				
田中																				
養護																				
浅野																				
小松身																				
小林																				
加藤																				
カーカンド	ۍ  د	 L												1			1			

## ●芸術科

氏	名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
棚橋	文代																				
布山	淳一																				
藤森	東子																				
渡邉	綠郎																				
降簱	一成																				
村瀬	範弘																				



氏 名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
講師																				
中村知佐紀																				
古川 瑞子																				
岩垂満千子																				
古田真寿美																				
渡邉 綠郎																				
棚橋 文代																				
鈴木百合子																				

## ●英語科

大品行																				
氏名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
伊佐治照子																				
玉置 啓二																				
猪飼 迪子																				
大坪 眞之																				
有賀 欣哉																				
別所正史																				
石井 和子																				
太田美智子																				
高木 茂和																				
角田 文嗣																				
植田美智留																				
鈴木ひろ子																				
野木 ひろナ																				
井戸 星子																				
大江 葉子																				
井上いずみ																				
櫻井 護																				
水口 猛																				
前田 博子																				
即田 母工																				
大矢 正明																				
石川 桂子																				
藤井 佳一																				
市原 賢優																				
二村 文敏																				
津崎 裕子																				
堀江 研二																				
田中里香																				
山本幹也																				
天野 由佳																				
景浦 学																				
高木 志保																				
木村 京子																				
髙木小百合																				
佐藤 正樹																				
岸 亜美																				
羽中田 亜理沙																				
後藤あやみ																				
瓜田 裕哉																				
澤田あずさ																				
講師																				
高田 文子																				
横山 衣里																				
猪飼迪子																				
長沼雅子																				
大矢 正明																				
奥田 智子																				
酒向 智子																				
森 美秀																				
井戸田康子																				
石井 和子																				
赤池 仁美																				
小心 1_美																				

氏 名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
神谷 和孝																				
橋本 匡代																				
ALT *	ALTはi	前年度8月	月~該当:	年度7月	までの在	籍														
Imogen Rands	5																			
Jeannie Pang																				
Kerryn Moses																				
Jonathan Quar	1																			
Bryce																				
Clara																				
Kimberly Cain																				
Stockton Taylo	r																			

### ■家庭科

30 庭竹																				
氏 名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
加藤 敦子																				
下野恵理子																				
小串 幹恵																				
水阪 文恵																				
櫻井愛里子																				
青井ゆり子																				
講師																				
日比野 泉																				
神原 由佳																				
熊澤 睦美																				
汲田 和美																				
奥村 陽子																				
今西 周子																				
岩屋 実希																				
長谷川 由美子																				

# 定時制 職員在職年数(平成11~30年)

## ●校 長

氏	名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
森	俊勝																				
岩田	孝志																				
髙屋	一行																				
古川	和明																				
白川	誠																				
大平	高司																				
鹿野	孝紀																				
篠田	憲明																				
髙橋	博美																				
平野	弘																				
藤掛賀	津博																				

## ●副校長

氏 名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
井戸端清司																				
浅井 文英																				
石井 和子																				
古木 増美																				
長縄 正治																				
米山英津子																				
増田 文代																				
亀山 弘																				
浅野忠一郎																				



## ●教 頭

氏	名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
夏目	重之																				i
小池	邦夫																				
若園	貞一																				
加藤	善朗																				
石井	謙二																				ı

## ■国語科

— нь																					
氏		H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
梅田	有剛																				
安藤	理絵																				
井神	明子																				
山岸																					
伊藤	貴晴																				
舟橋	紀一																				
杉山	愛美																				
高瀬	聡子																				
講	師																				
	愛子																				
藤井	由起																				
堀江戸	可南子																				
田口	昂佑																				

## ●地歴公民科

氏	名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
津田	厚雄																				
牧田	二郎																				
青木	久																				
粥川	責也																				
	正勝																				
三輪	周平																				
今井	誠弥																				

## ●数学科

氏	名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
長屋	修																				
渡辺	義彦																				
筑樋	良文																				
上野	真弘																				
座馬	朋明																				
武藤	秀彦																				
渡邉	憲																				

## ●理 科

氏 名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
加藤宗太郎																				
多賀 敏和																				
水谷 浩久																				
岩田庸一																				
熊澤 忍																				

## ●保健体育科

氏	名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
西村	正治																				
石神	和晴																				
安藤	和章																				
松井	直也																				
尾関	清光																				
講	師																				
大江	悟																				
今井	章文																				

氏	名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
加納	篤																				
垣下	孝純																				
夏目	達也																				
平岡	勇人																				
三宅	康平																				
	朋恵																				
若宮																					
養護																					
玉木	里佳																				
朝日美																					
杉島美	€也子																				
山本	由香																				
高橋	翔子																				
國枝	奈穂																				
養護	講師																				
井戸	麻里																				

#### ●芸術科

דוינויו גב																				
氏 名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
渡邉 綠郎																				
古田真寿美																				
講師																				
安藤 満																				
佐野 留奈																				
大島 留奈																				
西澤 香織																				
古田真寿美																				
大嶋 漢																				
国枝 直子																				
棚橋 文代																				

## ●英語科

氏	名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
渡辺	邦友																				
石井	和子																				
森	美秀																				
渡部	正実																				
玉木	英治																				
横山美	€有紀																				
講	師																				
水越	博																				
中河	志保																				
鈴木賀	- 員寿子																				

## ●家庭科

氏 名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
汲田 和美																				
櫻井愛里子																				
青井ゆり子																				
講師	•											•						•		
渡辺美代子																				
汲田 和美																				
今西 周子																				
大島 直子																				



# 事務部職員 在職年数(平成11~30年)

## ●事務部長

氏 名	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
祖父江 滋																			
稲村 篤治																			
石坂 修																			ı
政井 敏夫																			
若山 充																			
熊田 隆起																			
中山 実夫																			i
加藤 和也																			
伊藤 佳孝																			
奥村 正則																			
竹内 英雄																			

#### ■事務部

●事務																					
氏		H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
栗本	稔																				
村山																					
枝松日																					
酒井田																					
安江																					
山下 !																					
中野	弘																				
佐合																					
	正治																				
岡野																					
藤下																					
武藤																					
後藤	里美																				
野原																					
森	里志																				
宮西	武彦																				
高木																					
伊藤	広保																				
田原	紀恵																				
長尾	健児																				
小池	明美																				
近藤	聡美																				
渡辺	康子																				
佐藤																					
田辺																					
伏屋																					
佐藤																					
喜田加																					
川島																					
山田																					
大矢																					
室賀																					
学校																					
桜井																					
清水。																					
大野和																					
石崎																					
山下野																					
	 用務員													I							
佐橋																					
町田																					
渡辺																					
業務																					
加藤	<del>對 ] 職</del> 登																				
鈴村	<del>豆</del> 保																				
平山小刀	TAT.																				

氏	名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
岩井	恒美																				
渡辺	文義																				
田下	真穂																				

### ●その他

氏		H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
部活動	指導員																				
林	弘子																				
西山	和子																				
神保	孝之																				
伊藤豆																					
柘植	洋子																				
武山で	<b>)とみ</b>																				
山内	_																				
近藤	紀公																				
武藤	純代																				
長谷川	清志																				
高野	春見																				
赤塚	孝司																				
高木ク	く美子																				
櫻井愛	愛里子																				
調理征	<b>芷業員</b>																				
藤田	祥子																				
宮内美	€弥子																				
横田日	恵子																				
		応指導員	į																		
ガリンド・リディフ																					
	こしえ																				
間田ク	`ロリア																				
メネシオ・キーン 星野	・エスペランザ 希音																				
就職	<b>旨導員</b>																				
佐藤	正道																				
支护																					
安江初	占三子																				